

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 栄町

自治体名：千葉県栄町

担当課名：教育課

電話番号：0476-33-7716

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	32.46 km ²
人口	19,608 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	367 人
部活動数	15 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	栄町部活動地域移行運営協議会 令和6年度設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	部活動指導員等活用事業実施要綱策定済

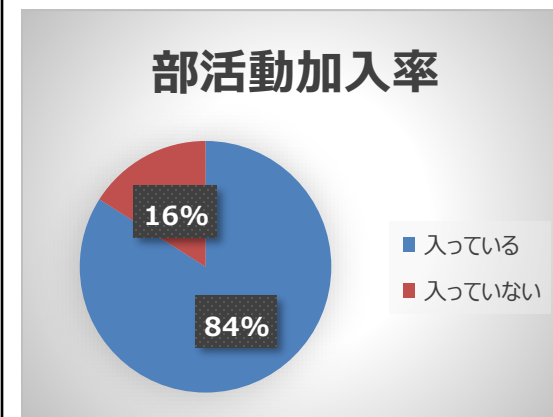
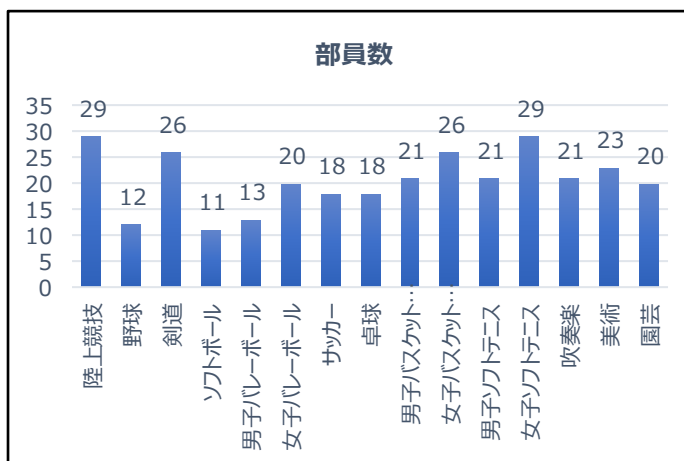
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

栄町では平成27年の中学校統合により栄中学校 1校となった。人口やこどもの数は少しずつではあるが減少傾向にあり、現在は367人の生徒が通っている。しかしながら1,000人規模だったころと部活動数が変わらない現状があり、チームを単独で組めない部活動が存在している。

現在栄中には運動部が12部活、文化部が3部活あり、休日に練習を実施している部活動は、運動部12部活と文化部1部活の合わせて13部活である。そのうち、卓球部については今までもボランティアコーチとして指導していたI氏を4月から外部指導員として委嘱した。また、11月

からは同じくボランティアコーチとして男子バレーボール部を指導していたN氏を外部指導員として委嘱した。この2名は休日の部活動について、地域クラブの位置づけで中心となって指導に当たっている。

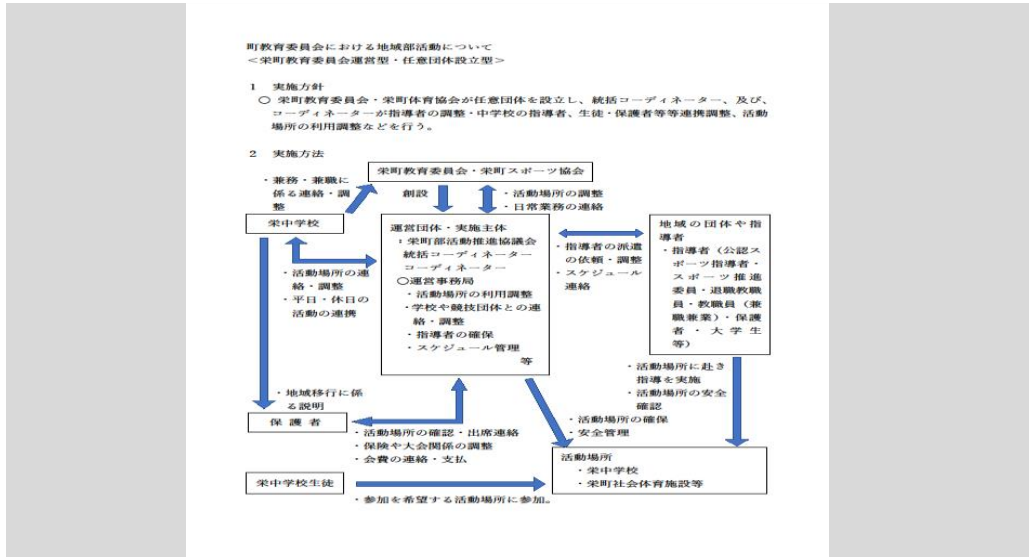
今後については、13部活動全てに外部指導員や兼職兼業による教員の配置を行えるよう推進していく。指導者の確保や受益者負担、広域連携、運営団体の設立といった課題についても今後検討していく。



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・教育課 外部指導員の配置、学校との連絡調整、実証事業業務の遂行
- ・生涯学習課 栄町部活動地域移行運営協議会にスポーツ振興班も参加

◎首長部局

- ・企画財政課 町財政の方針を決定 部活動指導員・外部指導員に係る予算を担当
- ・総務政策課 部活動地域移行を含めた町政策の方向性を担当

年間の事業スケジュール

令和6年4月	卓球部外部指導員配置
令和6年5月	第1回部活動地域移行推進協議会
令和6年10月	第2回部活動地域移行推進協議会
令和6年11月	男子バレー部外部指導員配置
令和6年12月	栄町地域移行推進通信一号 栄中、町内小学校六年生に配布
令和7年1月	第3回部活動地域移行推進協議会
令和7年2月	栄町地域移行推進通信二号 栄中、町内小学校六年生に配布
令和7年2月	第4回部活動地域移行推進協議会
令和7年2月	栄中入学説明会での周知
令和7年3月	学期末保護者会での周知

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（2部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	2人	全体の運営スタッフ数	2人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
栄卓球クラブ	地域クラブ	卓球	月4回/ 週1回	8時～ 12時	中1 3人 中2 9人 中3 6人	4月～3月	栄中学校多目的ホール	1人	1人	月会費 0円/ 年会費 0円（など）	中体連：部活動 その他：栄卓球スポーツ少年団
栄バレーボールクラブ	地域クラブ	男子バレーボール	月4回/ 週1回	8時～ 12時	中1 5人 中2 5人 中3 3人	4月～3月	栄中学校体育館	1人	1人	月会費 0円/ 年会費 0円（など）	中体連：部活動 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

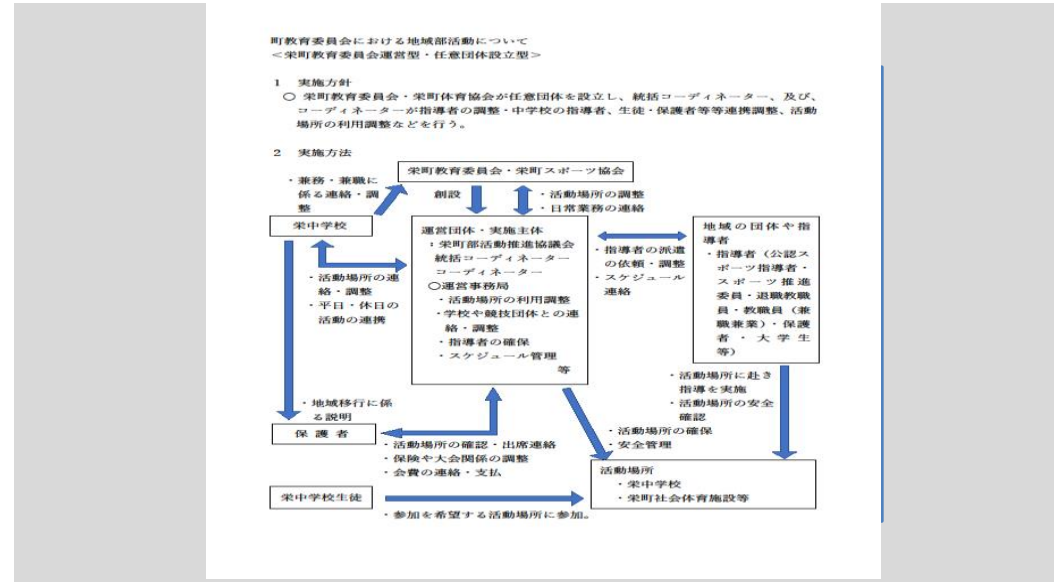
- なし

主な取組例

●栄卓球クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	なし
期間と日数	卓球：4月6日～3月29日 月4回程度
指導者の主な属性	外部指導員
活動場所	栄中学校多目的ホール
主な移動手段	保護者の自家用車・自転車・徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 団体総合生活補償保険 指導者1人あたり：2,410円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●指導者 1名

役割：技術指導・安全確認・試合アドバイザー等指導業務を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

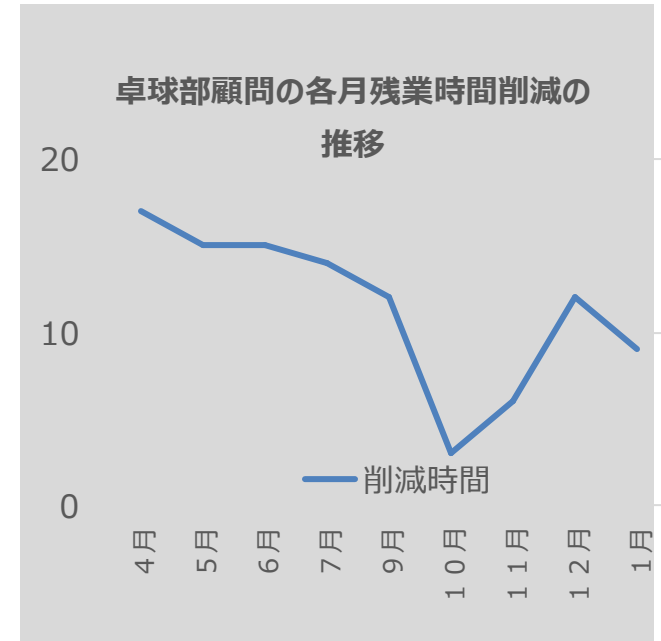
取組事項

4月から卓球部、11月から男子バレーボール部に外部指導員を1名配置し、部活動顧問と指導方針を共有し、連携した指導を実施した。外部指導員は、部活動ガイドラインに沿って、休日1日4時間の指導を行う。

取組の成果

4月から外部指導員を配置した栄中学校卓球部では顧問の休日の残業時間が月平均12時間削減している。以前から課題となっていた教員による休日の部活動指導による超過勤務増大の課題だったが、部活動指導員及び外部指導員の配置により軽減され、働き方改革が推進した。受益者負担による指導者報酬をどのように解決していくかといった課題も発見できた。

卓球部顧問の各月残業時間削減の推移



コーディネーターの具体的な動きの実績

栄町内にはコーディネーターはまだ配置されていない。

今後の課題と対応方針

現在は栄町教育委員会教育課が個々の外部指導員と連絡を取っている状況だが、今後はそれぞれの部活動に外部指導員を配置するため、その活動や運営を統括する団体が必要となっている。令和7年度には運営団体をどのようにしていくのかを検討していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

今年度 2 名の外部指導員を配置した。町として、人材バンクを起こしたり、活用したりするに至っていない。
次年度の13部活動への指導者配置については、スポーツ関係者への周知により、確保を目指す。また、県の人材バンクの活用も検討していく。

種目

- ・卓球部
- ・男子バレーボール部

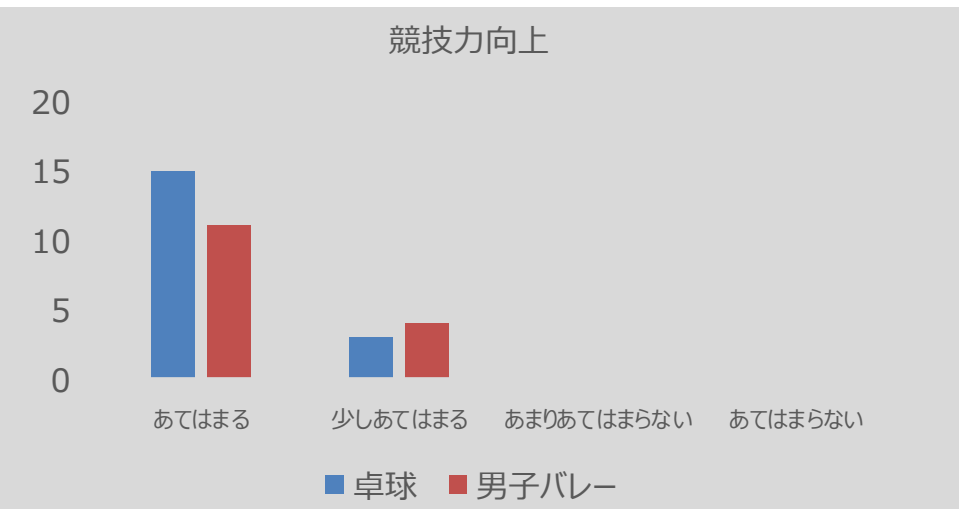
資格有無

- ・資格の取得なし

取組の成果

今まで外部指導者として、部活動指導に携わったことのある 2 名を外部指導員として配置したことにより、部活動と地域クラブが連携し、統一性のある指導が実施できている。また、顧問とは違った立場で生徒と関わることができ、自分の課題や悩みのような分野にも対応する姿があり、外部指導員の配置が子供たちの活動を充実させる要因の一つとなっている。

Q.外部指導員の配置により、自分の競技力が高まった。



Q.R6生徒アンケートより

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

外部指導員 2 名に対する、中学生への指導における留意点として、守秘義務や各種ハラスメントの禁止、生徒の安全確保、体調不良時の対応方法などについて、直接話をしている。

外部指導員 2 名については、今までも部活動の外部指導者として関わってきた経験があり、地域クラブでの指導にあたっては、学校部活動との連携による子供への対応や保護者連絡等を実施することを確認している。

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 4月6日、11月13日
- ・開催回数： 2回
- ・参加人数： 2人

外部指導員として配置する 2 名に対して、直接会って指導者の心得や確認事項を伝達した。

受講者の声

「外部指導員の配置により、自分の競技力が高まったか」というアンケートの質問項目に対して、「非常に高まった」と回答した生徒が多かった。また、「アドバイスされたことが実際の場面でできて驚いた」「前後に揺さぶられた時、どうレシーブしたらよいかわかった」など、外部指導員の専門的な指導により、大きな成果が見られている。

また、関係者や保護者からも「熱心に教えてくれて子供がとても喜んでいたので応援したい」、「厳しいときもあるけど温かみがあるのでありがたい」など肯定的な声も聞かれた。

今後の課題と対応方針

今後の指導者研修については、課長や北総地区地域コーディネーターといった、体育を専門とした指導実績のある人物が行う方針で検討している。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

学校部活動顧問と外部指導員による連携強化

取組の成果

部活動における指導や大会では、部活動顧問を中心に大会に参加する中で、外部指導員は練習でのコーチ、試合でのアドバイザーとして指導に当たり、土日の地域クラブでは外部指導員が中心となって指導に当たり、顧問は必要に応じて外部指導員に協力する形で相互に連携した取り組みを行ってきた。また、社会体育の栄卓球スポーツ少年団やPTAバレーなど部活動や地域クラブ外の指導者とも連携し、練習機会の確保や質の高い指導に役立っている。

栄町内にある社会体育団体数調査 (栄町生涯学習課より)	
スポーツ少年団	5 団体
学校施設等利用団体数	38 団体
サークル連絡協議会	65 団体

バス等の運行実績

- ・日数 0日
- ・利用者数 0人
- ・運行経路

今後の課題と対応方針

栄町では部活動指導員等活用事業実施要綱を定めている。学校の教育計画に基づいた指導など、部活動指導員等が行うことができる職務について明示している。また、生徒指導に係る対応や、事故が起きた場合は顧問教員と連携し組織的に対応することを要綱で定めている。課題としては、練習等を欠席する時の連絡方法や、熱中症の危険がある場合の判断・連絡の方法などが挙げられる。なるべく外部指導者にも負担なく活用しやすいツールなど、連携方法について検討していく必要がある。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

技術指導の充実

活動の詳細			
参加人数	33人	指導者数	2人
属性	地域クラブ		
具体的な内容	練習時間の確保及び質の高い指導により、必要となる技術を身に付けられるようにする。		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 多球練習はきつけれど、がんばって練習して力強いボールが打てるようになった。 ● 前後にゆさぶられたボールをレシーブするときの動き方がわかった。 ● アドバイスされたことが実際の場面に出てきて驚いた。 ● なかなかボールが返せなかったが、アドバイスの通りに動いたらレシーブができたので嬉しかった。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 熱心に教えてくれて、子供がとても頑張っているので応援したい。(保護者) ● 厳しくて叱られることもあるけれど、温かみがあるので、ありがたい。(保護者) ● 顧問の考えていることを代弁して話してくれるので、指導の意味がわかった。(保護者) ● さまざまな攻撃パターンやレシーブのコツを教えてくれるのでためになっている。(保護者) 		
運営経費	なし	外部指導者指導歴 卓球I氏：12年 男子バレーN氏：13年	

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



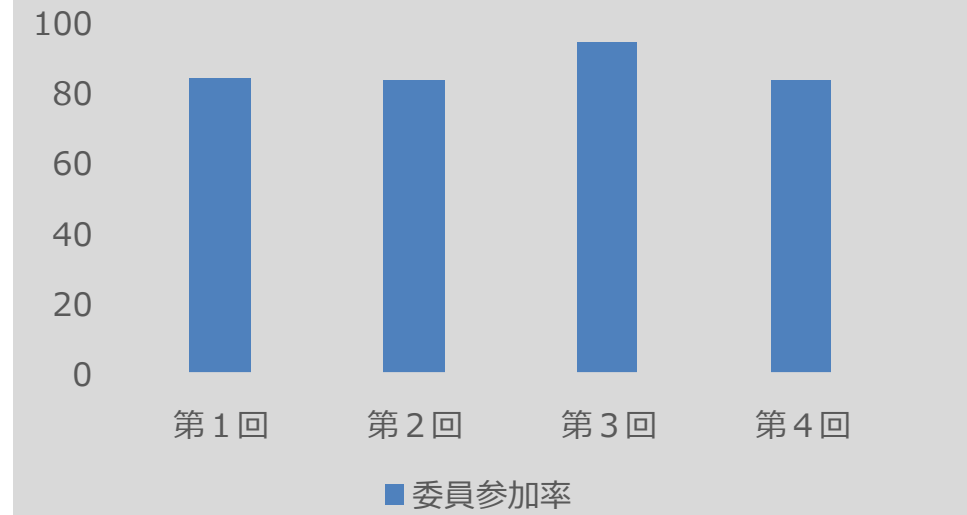
取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

部活動地域移行推進協議会を今年度より立ち上げた。委員として、栄中学校PTA会長、栄町スポーツ協会会長、栄町サークル連絡協議会会長、北総地区地域コーディネーター、栄中学校長、栄町役場町部局より、総務政策課長、企画財政課長、教育委員会より教育長、教育次長、教育課長、生涯学習課長、そして、教育委員会職員により構成される。年4回の会議により、地域移行推進協議会の概要を共有するとともに、栄町に適した取組はどうあるべきかについて意見交換の進め、今後の栄町の方向性や課題・課題解決に向けた動きを確認することができた。

地域移行推進協議会委員参加率



今後の課題と対応方針

指導者の確保については、栄町の地域性を活かし、栄中に関係のある方々のつながりから人材発掘を進めている。13部活あるうちのあと6部活について指導者を確保できていない状況なので、人材バンクの活用も含めて人材確保に向けて取り組んでいく。その過程で、推進協議会委員が会長に就いている団体の中で、部活動地域移行の動きを周知したり、指

導者の発掘、さらには中学生とともに活動できる団体を発掘していく。

また、新たに発足した外部指導員が指導する地域クラブを統括する組織の設立については、既存の総合型スポーツクラブにゆだねる方法や新たにNPO法人を立ち上げる方法などがあり、栄町に合った課題解決を追求していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組の成果

費用負担について、今年度は地域クラブ運営費に係る受益者負担はなし。部活動と提携しながら、施設利用費や雑費はかけずに活動を行ってきた。持続的な運営に必要な受益者負担額の試算は以下のとおりである。

栄卓球クラブ	参加費	0円
栄バレーボールクラブ	参加費	0円

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

栄中学校生徒の推移

R7	337人	R8	320人
R9	320人	R10	320人
R11	310人	R12	290人
R13	280人		

R610月31日現在住民基本台帳人口

- 13部活動に各2名ずつの指導者を配置できた場合
- 時給1600円、1日4時間、年間50週で計算した場合
 $1400 \times 4 \times 50 \times 26 = 832$ 万円
- 保険料を含む合計 約850万円
- 300人の生徒が参加した場合の受益者負担額 約2,300円

今後の課題と対応方針

次年度からは、土日に部活動を行っている13部活について、外部指導員を1名ずつ配置する予定である。その際には、指導者に係る費用や地域クラブに参加する生徒の保険料の負担などについての課題がある。受益者負担の足がかりとして、来年度は、生徒に係るスポーツ保険料を受益者負担として実施する方針である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

栄中学校の施設については、部活動と連携した取り組みとして施設料を払わずに、部活動を行っている環境で地域クラブ活動を実施する。

取組の成果

部活動と同じ環境で活動を行うことで、日頃の取組を継続して実施することができている。その中で、ボール1つ落としたまま帰ることのないよう確認して帰ったり、環境を活用できることを当たり前と思わずに、ものや道具を大切に活用する意識といった、人間性を育てることに寄与している。

栄町生涯学習課資料 「学校体育館・グラウンドで実施できる種目一覧」

学校施設	実施可能な種目
安食小学校	卓球、剣道、バレーボール、インディアカ、ミニバスケットボール
布鎌小学校	ミニバスケット
安食台小学校	バドミントン、バレーボール、ミニバレー、ミニバスケット、インディアカ
竜角寺台小学校	バスケットボール、バレーボール、バドミントン、インディアカ、ソフトバレー、ミニバレー、サッカー
栄中学校	バスケットボール、卓球、バレーボール、ミニバスケット

今後の課題と対応方針

学校施設や学校のを部活動だけでなく、地域クラブでも使うにあたり、施設を壊したり、楽器や卓球台といった学校にあるものを壊したりしたときに、誰が責任を負うのかについての課題がある。学校や町財政との検討が必要になるため、今後に向けて協議していく方針である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

部活動における指導や大会では、部活動顧問を中心にして大会に参加する中で、外部指導員は練習でのコーチ、試合でのアドバイザーとして指導に当たり、土日の地域クラブでは外部指導員が中心となって指導に当たり、顧問は必要に応じて外部指導員に協力する形で相互に連携した取り組みを行ってきた。

取組の成果

練習機会の確保や質の高い指導に役立っている。その背景には今まで積み上げた、監督とコーチの関係性を地域移行に生かしている点がある。卓球部でも、男子バレーボール部でも外部指導者としてボランティアで指導してきたことによる生徒との人間関係があり、そのことは指導がそのまま生徒に入っていくので有効だった。

主な外部指導員と部活動顧問が連携する機会

- ・部活動に外部指導者として指導に入る場合
- ・地域クラブの様子を顧問が見にくる場合
- ・部活動で試合に参加するときのアドバイザー
- ・必要があって活動時間外に連絡をとる場合
- ・SNSを活用した情報共有

指導者の属性や配置の工夫

- ・指導者の属性
外部指導員
- ・配置の工夫
既存の外部指導者を活用して栄町が定める外部指導員になっていたことで、顧問や生徒との関係が出来上がっている中での指導ができています。

一貫指導に関する部活動顧問との連携事例

部活動における指導や大会では、部活動顧問を中心にして大会に参加する中で、外部指導員は練習でのコーチ、試合でのアドバイザーとして指導に当たり、土日の地域クラブでは外部指導員が中心となって指導に当たり、顧問は必要に応じて外部指導員に協力する形で相互に連携した取り組みを行ってきた。

今後の課題と対応方針

既存の外部指導等により、生徒との人間関係がある指導者は全ての部活動にいるわけではない。指導者の確保をする中でそうした人間関係がない指導希望者が気持ちよく活動できるためのコーディネートを進めていけるかが運営上の課題である。

2. 実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

● 取組項目名 例) イ：指導者の質の保障・量の確保 / ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項 (イ)

指導者の確保

取組の成果 (イ)

今現在 2 名の外部指導員を登用することができ、練習量と質の確保に寄与している。

栄中外部指導者一覧 ※栄中資料

【調査】 栄中部活動に出入りする外部指導者について			
部活動	氏名	指導日	備考
卓球部	藤江 健	部活動全般	部活動指導員
卓球部	石崎 智次	土日	外部指導員、ベンチアドバイザー
卓球部	弘海 達也	土日	栄卓球スポーツ少年団代表、ベンチアドバイザー
剣道部	伊藤 保	平日(朝)	外部コーチ
男子バスケットボール部			
女子バスケットボール部			
吹奏楽部			
男子ソフトテニス部	薄田 直樹	平日(朝・放)、土曜日	外部コーチ
男子ソフトテニス部	石川 竣太	月 1 回程度	外部コーチ
女子ソフトテニス部			
サッカー部			
男子バレーボール部	中神 邦博	月 1 回程度	外部コーチ
女子バレーボール部			
陸上競技部			
野球部	中島 充裕	日曜日	社会体育指導者
ソフトボール部			

取組事項 (ウ)

指導者の確保及び中学生の活動機会の確保

取組の成果 (ウ)

栄町部活動地域移行推進協議会において、各代表者に指導者の確保を呼び掛けることで、次年度の各団体の総会等で指導者の確保や中学生が土日に自分の望む活動ができるよう。地域に働きかけるきっかけをつくることができました。

団体登録一覧 ※生涯学習課資料

団体番号	団体名	代表者名
1	文武育成会	藤田 一典
2	栄連球クラブ(SITC)	藤澤 聖希
3	ザンクローブ吹奏楽	岸ノ上 敦馬
4	北辺田スポーツ少年団	伊藤 智治
5	栄連球愛好会	宮藤 伸也
6	安産台小学校 FTA/バレー	宮永 亜希
7	キャッツ	久保木 公子
8	マックス	井上 憲行
9	若葉クラブ	霜田 安寿里
10	シトルズ	高橋 英希
11	栄町卓球連盟	山本 洋一
12	小丸 龍弘	小丸 龍弘
13	竜角寺台 サッカークラブ	車田口 芳樹子
14	龍馬FC	山下 弘志
15	STEERN(シュテルン)	梶原 麗子
16	DOMINATE	伊藤 光典
17	無雙武徳英信館 居合道栄信会	田畑 博
18	パフスSK	岸田 由美子
19	栄ジョージニアの嵐	船山 進
20	FUNNY	石野 直穂子
21	竜角寺台小学校 FTA/バレー	遠藤 聡
22	栄町TEGクラブ	相模 英智晃
23	NEXUS	新倉 久花
24	ミヤマひよこBC	山崎 修典
25	安産台体協クラブ	霜田 孝
26	北辺田太鼓M.C.連合隊	熊玉 聖美
27	栄町を愛する女性の会 いさい健康部	大平 典代
28	栄野球クラブ	鈴木 久美子
29	INBAフェースピケルズ	石井 健
30	健康大根菜なまじい会	橋本 智哉
31	下総学太鼓	井田 智広
32	下総学太鼓	井田 智広
33	下総学太鼓	井田 智広
34	下総学太鼓	井田 智広
35	下総学太鼓	井田 智広

今後の課題と対応方針

今後の課題として、多くの方に部活動地域移行の理解を得て、栄中学校生徒の指導者になって協力してくれる有志を探したり、地域の中に中学生が入って活動ができるように依頼したりすることが必要になってくる。

連絡協議会の中で、スポーツ協会、サークル連絡協議会、スポーツ少年団、生涯学習課スポーツ振興班などが協力し合って、中学生のために考え行動していけるように環境整備を進めていきたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

栄町では部活動地域移行に伴い、栄中学校において休日に部活動を行っている13部活動のうち、2部活について外部指導員の配置を行った。その結果として、該当する2部活動の顧問の休日残業は減っている。また、該当部活動でのコーチ経験のある2名だったこともあり、すでに指導者と生徒との人間関係が構築されている中での外部指導員配置だったため、専門性があり、かつなじみのある指導による効果があった。地域クラブの運営については、栄町では、部活動と連携した地域クラブとして顧問と外部指導員が連携をとることができる環境にあるので、指導方針を共有したり、今高めるべき技術を共有したりして、手厚い指導を実施していく。

●成果の評価

県の方針に則り、1校に複数の外部指導員の配置を栄町でも行うことができた。また、年4回の栄町部活動推進協議会を行い、外部指導者の発掘や運営団体の在り方、スポーツ保険加入の必要性など、今後の地域移行・地域展開に向けて議論を重ねることができた。

次年度に向けた新たな外部指導員の配置、受益者負担の金額、運営団体の持ち方などの課題が多く残されている。令和7年度も推進協議会を実施し、地域展開の推進を図っていく。また、保護者会や各種便りなどを活用して保護者及び地域への周知を図り、本事業への理解の促進を今後も推し進めていく必要がある。

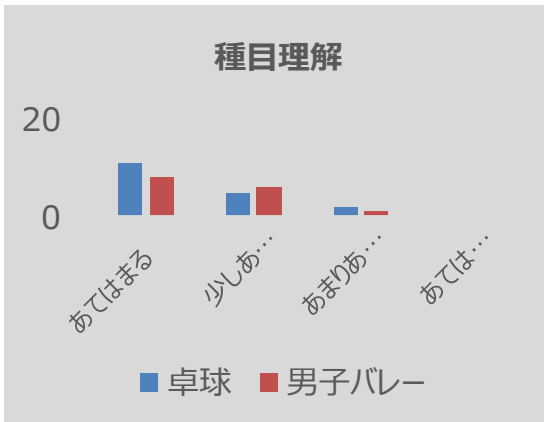
●今後に向けて

休日に部活動を実施する13部活動全てへの指導者確保を行うための指導者がまだ確保できていない。栄町のスポーツに関わる方々や栄町出身者の方々などとの関係により、意欲ある指導者の確保へとつなげていきたい。また、地域クラブを運営する団体設立については、どのような形が栄町に合っているのかについて、部活動地域移行推進協議会でもよく検討していく。また、受益者負担について、子供の数が少ない栄町としては、どのような方法が適しているのかを、他の市町の取組も参考にしながら検討を進めていく。

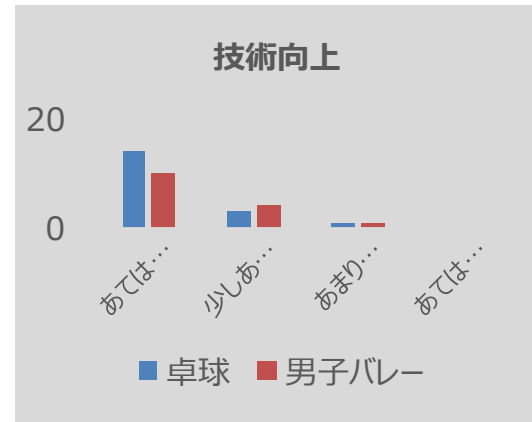
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

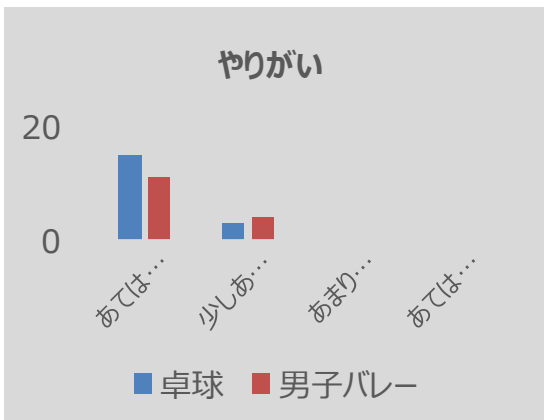
Q.外部指導員の配置により、種目への理解が高まった。



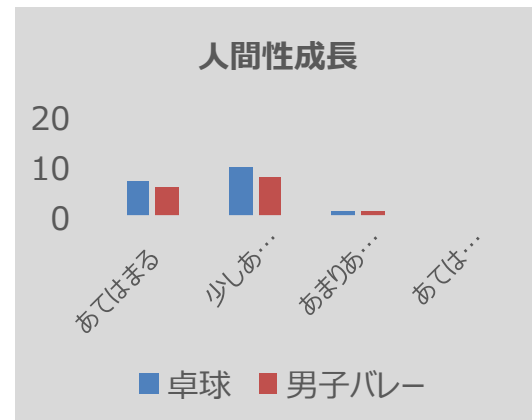
Q.外部指導員の配置により、技術が向上した。



Q活動にやりがいを感じている。



Q外部指導員の配置により、自分の人間性が成長できた。



●参加者の声

卓球：中学3年生女子

私は中学から卓球を始めました。最後の総体では全国に行くことはできませんでしたが、Iさんが熱心に教えてくれたおかげでここまで成長することができました。

男子バレー：中学2年生

練習では、Nさんはたくさんボールを投げつけてくれて、練習量が増えました。難しいボールもあきらめずに返すことができるようにこれからも練習を頑張りたいです。

卓球外部指導員

私は、部活動指導員や顧問の先生とよく話し合って、指導方針を決めています。私の娘も卓球部にお世話になったので、恩返しができるように、娘と歩んできた経験を活かして指導しています。

男子バレーボール外部指導員

私は顧問の先生に誘われて外部指導員を始めました。部活動での指導を活かして土日の練習でも継続的に練習できるようお手伝いをしています。子供たちが熱心に練習するので、こちらも気合いが入っています。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【練習風景：体幹トレーニング】



練習：保護者も入ったの練習】



【練習：ミーティング】



【大会への参加】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5～6年

協議会設置、
検討開始

受け皿団体や
指導者の選定

学校現場との
調整

生徒、保護者へ
の説明

令和6年

地域クラブ活動
の開始

令和7年

地域クラブ活動
の拡大

●ステークホルダー
推進協議会

●経過

令和5年8月から庁舎内のワーキンググループを通して推進協議会の検討を実施した。令和6年4月に設置要綱に基づき設立し、年4回の開催をした。

●実施にあたって生じた課題

部活動地域移行に関する目的などの理解を得ること。

●実施内容、工夫した点等

スポーツ協会や各種団体に部活動地域移行に関する事前説明を行ったことで、委員の選定をスムーズに行えたこと。

●ステークホルダー
生徒、保護者

●経過

令和5年度からアンケート等を通して部活動地域移行に関する周知を実施した。意見集約を行い、地域クラブの設立の検討事項とした。令和6年度には、地域移行だよりを通して、実施内容を周知した。

●実施にあたって生じた課題

保護者によって理解の認識が異なる場所があったこと。

●実施内容、工夫した点等

生徒によるアンケートにより、既存の部活動以外の希望を収集したこと。
保護者には、地域移行だよりの他、新入生保護者説明会等で周知を図ったこと。

●ステークホルダー
関係者

●経過

指導員の確保に向け、各関係者に周知および情報共有し、指導員として2名配置した。令和7年度以降は、13名に指導員の配置人数を拡大していく。

●実施にあたって生じた課題

指導員の確保と活動の支援に関する体制の整備をすること。

●実施内容、工夫した点等

学校と連携を深めるため、指導員を学校からの推薦としたこと。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

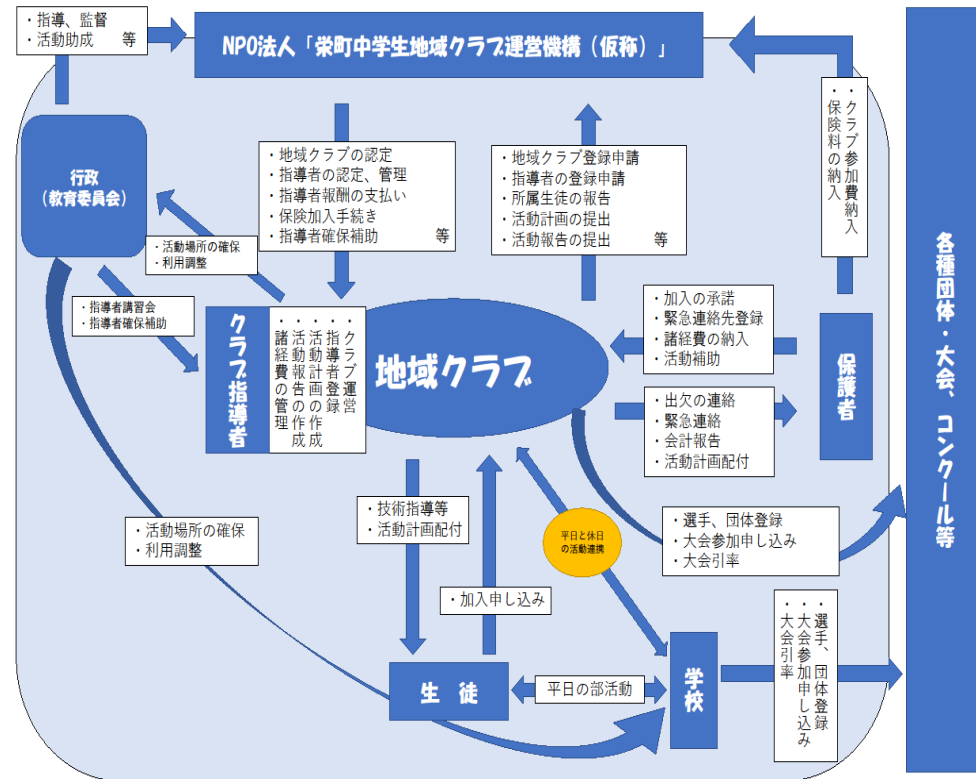
令和7年度目標

- ① 休日の部活動をクラブ化し、クラブ指導者（兼職兼業職員も含む）による地域活動に移行する。
- ② 地域クラブの運営・管理を行う団体の基盤をつくる。

令和7年度年間スケジュール

4月	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域展開に関する説明（教職員対象）⇒年度始め職員会議 部活動地域展開に関する説明会（中学校）教育委員会⇒保護者 年度始め保護者会 休日の地域クラブ加入申込書配布、回収 休日の地域クラブ活動開始
5月	<ul style="list-style-type: none"> 外部指導者講習会（教育委員会主催） 栄町部活動地域移行推進協議会開催① 令和7年度地域展開に関する説明、情報共有、本年度の事業目標の共有、推進計画の策定について説明
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 栄町部活動地域移行推進協議会開催② モデル事業の評価検証。地域クラブ管理運営団体設立の検討、栄町地域展開推進計画検討
8月	<ul style="list-style-type: none"> 栄町部活動地域移行推進協議会開催③ 今後の課題の検討。地域クラブ管理運営団体設立の検討、地域展開推進計画検討
9月	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域展開に関するアンケート調査（教職員、生徒対象）
10月	<ul style="list-style-type: none"> 栄町部活動地域移行推進協議会開催④ 前期の評価検証、地域クラブ管理運営団体設立の検討、栄町地域展開推進計画検討
11月	
12月	<ul style="list-style-type: none"> 栄町部活動地域移行推進協議会開催⑤ 地域クラブ管理運営団体設立の検討 令和8年度の部活動地域展開に関する説明会（学期末保護者会）
1月	<ul style="list-style-type: none"> 「栄町中学生地域クラブ運営機構（仮称）」の設立 部活動地域展開に関する説明会（中学校新入生保護者説明会）教育委員会⇒保護者 部活動地域展開に関するアンケート調査（教職員、生徒、保護者、クラブ指導者対象）
2月	<ul style="list-style-type: none"> 栄町部活動地域移行推進協議会開催⑥ 評価検証についての報告、地域展開推進計画決定 栄町部活動地域展開推進計画提出（最終）
3月	<ul style="list-style-type: none"> 部活動地域展開に関する保護者説明会（学期末保護者会）教育委員会⇒保護者 栄町部活動地域展開推進計画提出（最終）

栄町地域クラブ活動の展開イメージ（案）



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 東庄町

自治体名 : 千葉県 東庄町

担当課名 : 教育委員会教育課

電話番号 : 0478-86-2311

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積46.25km ²
人口	12,628 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	264人
部活動数	11 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

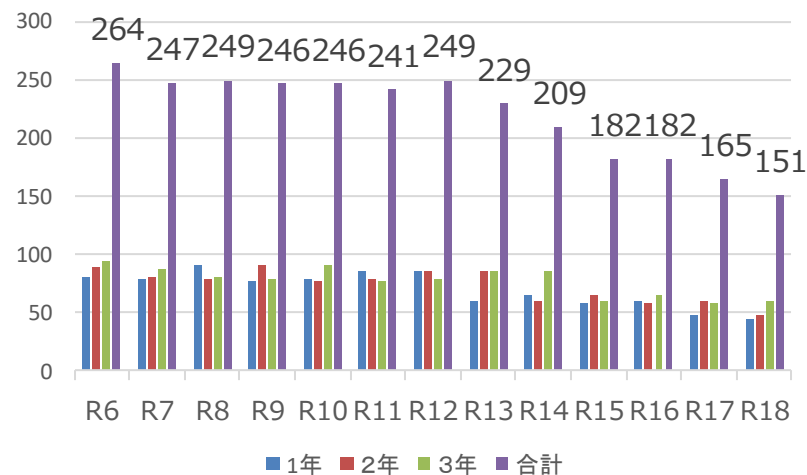
少子化の進行に伴う生徒数の減少により、部活動数や部員数の維持が難しくなっている。そのため、生徒が希望する部活動がなかったり、人数が確保できず、他校との合同チームを結成したり、団体競技は大会に参加できない等の状況がみられる。

現在は、部活動の地域移行に向けて部活動指導員5名の協力を得て活動している部活動がある。

同時に、地域のスポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会の協力により、学校にはないクラブ活動へ中学生を受け入れる体制を作っている。

しかし、学校部活動の地域移行となると、地域人材の確保や協力が得られないことが課題である。

中学生数推移



【課題】

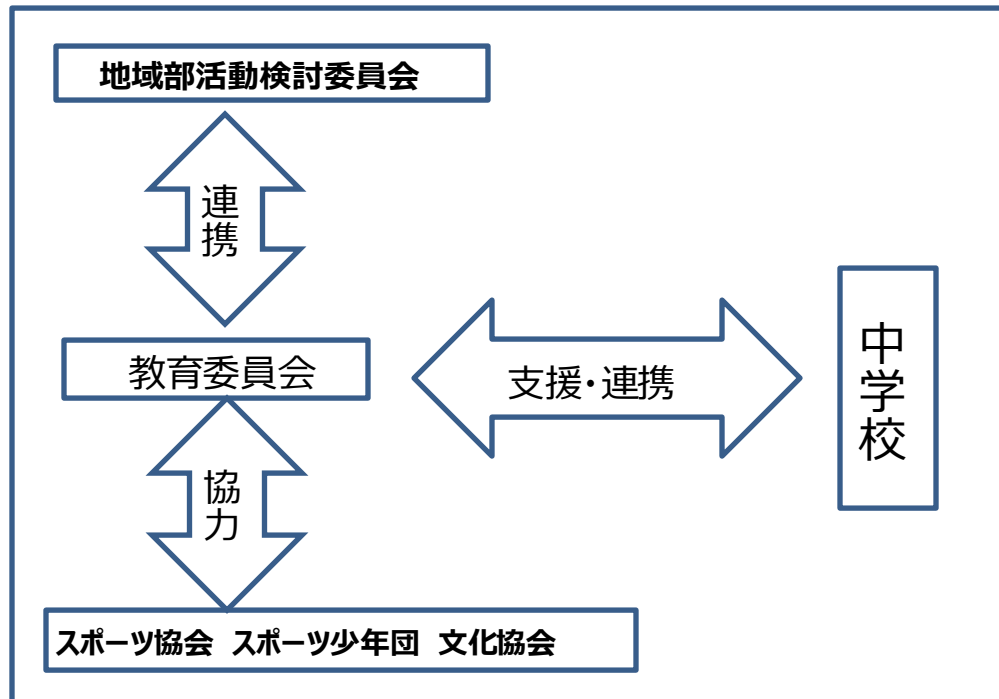
現在の東庄町の出生数を鑑みると、今後減少傾向はますます大きくなることが想定される。

出典:千葉県年齢別。町丁字別人口調査票

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会 教育課

- ・学校教育係…部活動改革の主幹、学校との調整・連携、学校に関する事項について
- ・生涯学習係…中学生の地域文化活動の環境整備

◎首長部局

なし

年間の事業スケジュール

令和6年4月	文化協会・スポーツ協会総会で説明 小中学校PTA総会で説明
令和6年5月	スポーツ少年団総会で説明 第1回検討委員会開催 中学校部活動（卓球）保護者会で説明
令和6年6月	地域クラブ参加依頼説明会
令和6年7月	第2回検討委員会開催
令和6年9月	ジュニア卓球クラブ実証事業開始
令和6年11月	第3回検討委員会開催
令和6年12月	中学校PTA全体会で説明
令和7年1月	中学校新入生保護者説明会で説明 第4回検討委員会開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（卓球）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		バドミントンクラブ
全体の指導者数	6人	全体の運営スタッフ数	6人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に (新)を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
ジュニア卓球クラブ	地域クラブ	卓球（新）	月2回	8:30～ 11:30	1年4人 2年11人	令和6年9月～	東庄中学校1階ホール	4人	2人 (内、兼務1人)	町の実証事業のため無料	中体連：部活動
ジュニアハートバドミントンクラブ	地域クラブ	バドミントン	月4回	19:00～ 21:00	3年2人	令和5年1月～	町民体育館	2人	2人 (内、兼務0人)	月会費1,000円	その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

なし

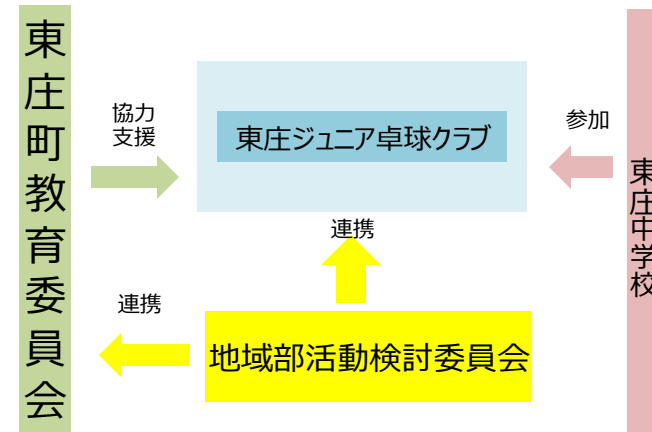
2.実証内容と成果

主な取組

●クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	東庄ジュニア卓球クラブ
期間と日数	9月～ 土曜日 月2回
指導者の主な属性	スポーツ協会会員、部活動指導員
活動場所	東庄中学校
主な移動手段	自転車
1人あたりの参加会費等(年額)	無料
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,200円/年 実証事業のため町負担

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 1名
役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う
- 主任指導者 1名
役割：活動における主任者として、生徒への指導を行う
- 運営補助者 2名
役割：活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

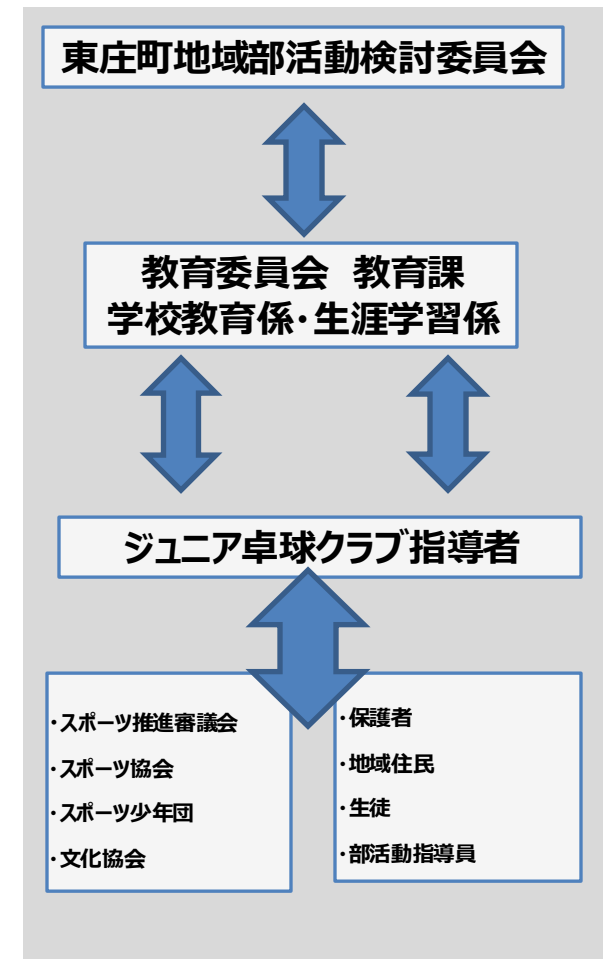
●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- 関係団体等（学識経験者、スポーツ推進審議会代表、スポーツ協会代表、スポーツ少年団代表、小中学校長、小中学校保護者代表等）からなる「東庄町地域部活動検討委員会」を年4回開催し、本町の状況に応じた休日の部活動地域移行の進め方について、国、県の方針を基に検討した。
- 関係者との連絡調整は、学校教育係指導主事及び生涯学習担当課長を中心として各種団体と連絡調整、説明等を行っている。

取組の成果

- 令和5年度より「東庄町地域部活動検討委員会」を年間4回開催し、本町の状況に応じた休日の部活動の地域移行の在り方や体制について検討を行い、一歩ずつではあるが、前進している。
- 「東庄町地域部活動検討委員会」での意見を参考に、各種団体や中学校保護者・生徒等へ部活動地域移行や地域クラブの情報提供を行うことができた。
- ジュニア卓球クラブの指導者が、「東庄町地域部活動検討委員会」の委員となっているため、活動状況や成果・課題等について情報の共有を図ることができた。



2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

- 卓球部の部活動指導員及び外部指導者が中心となり、休日に中学生を指導することが可能な人材を発掘する。
- ジュニア卓球クラブ設立前に、指導者との打ち合わせの中で、コンプライアンス遵守の徹底を図る。

取組の成果

- ジュニア卓球クラブの指導者4名を確保することができた。
- 教育委員会がジュニア卓球クラブの指導者に対し、事故防止の徹底、セクハラや体罰等の防止について説明を行った。
- ジュニア卓球クラブの指導者が東庄町地域部活動検討委員会の委員となっているため、情報の共有・委員会から指導・助言を行うことができた。

今後の課題と対応方針

- ジュニア卓球クラブの活動を休日月2回から、段階的に回数を多く設定し、完全にクラブ化する方向で準備を進めていく必要があるが、保護者に対して、受益者負担の説明や理解が今後大切となる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会との連携を図る。
- 香取支部小中体育連盟の体育研修会に参加し、各部専門部長と教育委員会担当者間で情報の共有を図る。
- 部活動地域移行に関心のある各団体と個別に説明する機会を設ける。

取組の成果

- スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会の各団体の総会に参加し、部活動地域移行についての説明するとともに、中学生の受け入れについて依頼することができた。さらに、中学生の受け入れに関心のある団体を集めての説明会の実施や個別の対応を図ることで、12の地域のクラブ団体が中学生の受け入れを開始することができた。
- 香取支部小中体育連盟の体育研修会に参加することで、部活動地域移行について町で取り組んでいる状況や各競技専門部長との情報交換、情報共有を図ることができた。

今後の課題と対応方針

- 今後も継続して、各団体への部活動地域移行の説明や中学生の活動支援の依頼を行うとともに、香取支部小中体育連盟と情報交換する機会を設けていく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- 教育委員会が、小中学校PTA総会、中学校期末PTA、新入生保護者説明会の場で、部活動地域移行について説明を行った。また、卓球においては、部活動保護者会で地域クラブ活動について説明を行った。
- 香取地区1市3町で部活動地域移行連絡協議会を開催し、各市町の情報交換、共通理解を図った。
- 町のウェブページに部活動地域移行の説明及び現状を載せた。

自治体の役割

- 東庄町教育委員会
 - ・地域クラブ運営、予算管理
 - ・関係機関との連絡、調整
 - ・理解促進に向けての広報
 - ・諸謝金等の事務処理

事務局運営の方法

- 東庄町教育委員会にクラブ事務局を設置。
- 教育委員会指導主事が関係団体等との連絡調整を実施。

取組の成果

- スポーツ協会総会、スポーツ少年団総会、文化協会総会に出席し、部活動地域移行についての説明および、平日及び休日に中学生の活動をクラブとして受け入れ可能か打診することができた。
- 町のウェブページに本町の部活動地域移行の現状やガイドラインを載せることで、広く地域住民等に知らせることができた。

今後の課題と対応方針

- 香取地区1市3町内で広域のクラブ活動に参加することができるよう検討する。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

- ・令和6年9月より、土曜日の卓球の活動が、月2回は学校部活動として、月2回は地域クラブとして活動を開始した。
- ・平日を含め休日の指導を行っていた外部指導者及び部活動指導員という立場の指導者が地域クラブを立ち上げたため、生徒及び保護者にとって違和感なくクラブへ移行できた。
- ・指導者の謝金、指導者の保険代、参加生徒の保険代を、実証事業として町が負担することで（受益者負担なし）、保護者にとっても特に不安材料はなかった。
- ・卓球の保護者会をはじめとして、保護者が集まる機会に部活動地域移行に関して、丁寧な説明を行い、保護者の理解を得ることができた。

●成果の評価

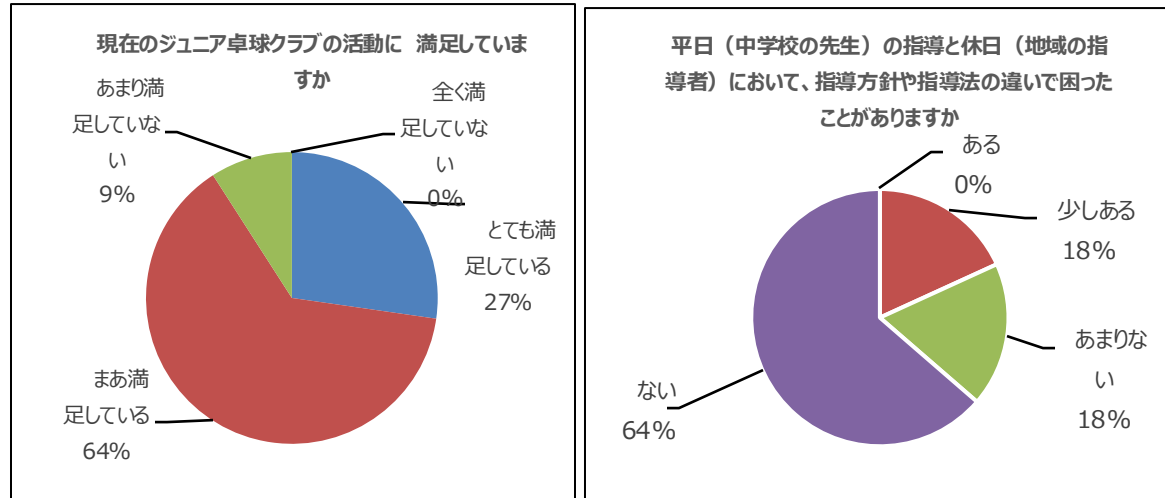
- ・地域クラブとして活動するにあたり、部活動保護者会に教育委員会が参加し、説明、質疑応答をすることで、保護者の理解を得られたと感じる。
- ・部活動と同様、保護者の金銭面での負担がないことも、スムーズな移行につながった。
- ・指導者の人材確保が地域のつながり、人脈により確保することができた。

●今後に向けて

- ・ジュニア卓球クラブについては、現在土曜日、月2回の地域クラブの活動を段階的に月3回・4回と完全実施できるよう取り組んでいきたい。さらに、平日の移行に向けた取り組みを協議していきたい。
- ・完全に地域クラブ化した場合は、受益者負担で活動することができるよう取り組んでいきたい。そのために保護者に対して、丁寧な説明が必要と考える。

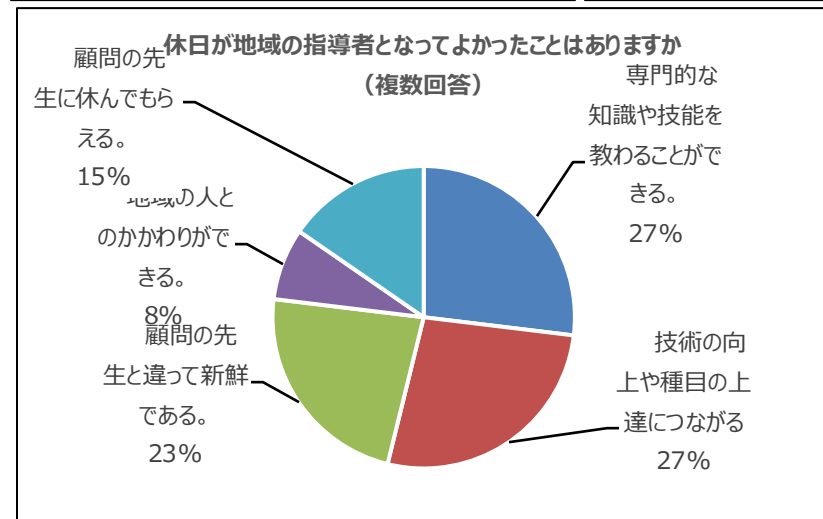
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果



●参加者の声

- 中学2年生**
顧問の先生と違って地域の人なので新鮮で楽しいです。
- 中学2年生**
一人一人のプレースタイルを尊重してくれた。
- 中学1年生**
普段の部活動では練習しない練習法で練習できて楽しい。
- 中学2年生**
課題練習をやりたいため、部活が良いと思うことがある。



- 中学2年生**
先生達以外の卓球の知識のある人に、先生達と違う意見が聞けたり、技術面上昇につながるの、とても良い経験です。
- 中学2年生**
冬の時間は、部活動の時間が少ないから、地域の指導者の人たちに教えてもらって技術が上達したと感じた。
- 中学2年生**
はじめは、部活との違いに戸惑ってしまったけれども、部活よりわかりやすくて良かった。

東庄ジュニア卓球クラブ生徒アンケート（実施期間：令和7年2月）の結果

参考資料（活動写真）



【ミーティング】



【指導の様子】



【指導の様子】



【練習の様子】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



ステークホルダー

学校、スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会、町教委

経過

令和5年度、検討委員会を設置し年4回開催した。学校部活動にはないが、バドミントンクラブを地域移行クラブとして活動開始した。

また、卓球クラブ立ち上げに向けて、中学校を加え、活動場所、時間、備品管理等について協議を行った。

令和6年度、検討委員会を年4回開催した。9月より休日月2回卓球クラブの活動を行うにあたり、部活動保護者説明会に参加し、説明および質疑応答を行った。

実施内容

令和6年度に、学校関係では、小中学校PTA総会、中学校1・2年期末PTA、中学校新入生保護者説明会に参加した。地域関係団体では、スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会の総会に参加。

また、部活動地域移行で中学生の受け皿として関心のある団体に向けて説明会を実施した。

実施にあたって生じた課題

検討委員会の委員に卓球クラブの指導者が入り、活動状況の成果及び課題について報告や協議する機会がある。課題としては、休日のクラブ活動において、活動場所のセキュリティの問題から、卓球台が不足していることがあげられた。

また、「ドライブ」(打ち方)について、教員とクラブ指導者間で若干の違いがあることが指摘された。

さらに、部活動に参加している生徒がクラブにも参加しているがそもそも活動する人数が不足していることが課題である。

今後の展開

今後は、休日月2回の活動から、月3回、毎週へと活動を発展させ、町の実証事業から、受益者負担で、卓球クラブが本格的に始動していけるように、関係者、保護者への説明を教育委員会として進めていく。

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

東庄町 スケジュール		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
		町で1部活移行	各中学1部活移行	各中学複数部活移行	準備のできた部活動から順次クラブへと移行 平日も順次クラブへと移行	
部活動	ジュニアハートバトミントンクラブ	地域移行				
	東庄ジュニア卓球クラブ	休日月2回活動開始 → 段階的に活動拡大 → 完全クラブ化				
	ソフトテニスクラブ	休日月2回活動開始 → 段階的に活動拡大 → 完全クラブ化				
	その他の部活動	準備のできた部活動から順次クラブへと移行				
その他	地域の各団体		スポーツ協会、スポーツ少年団、文化協会等のクラブが受け皿			
東庄町教育委員会	東庄町地域部活動検討委員会					
	保護者、地域住民、各団体へ周知、協力依頼					

※進行状況等により、作業内容やスケジュールの変更・追加は随時行うものとする。

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 横芝光町

自治体名：千葉県横芝光町

担当課名：教育課

電話番号：0479-84-4116

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	67.01 km ²
人口	22,066 人
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	505 人
部活動数	29 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向けて準備中

令和7年2月1日現在

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

町内2つの中学校があり、下記の表のとおり、今後10年間で生徒数が約30%減少すると見込まれている。現在、両中学校には、運動部、文化部を合わせて29の部活動があるが、部活動によっては、単独でチームが組めず、合同チームとして、大会に出場する部活動も少なくない。

そこで、本町では令和5年2月に協議会を立ち上げ、これまで計7回の地域部活動検討委員会を開催してきた。令和6年2月からは、町内2校の陸上競技部を町スポーツ協会陸上競技部に委託し、部活動の地域移行を開始した。現在は、大きなトラブルや問題もなく順調に活動

が進められている。

今年度は、各校部活動の現状を含め、校長や顧問から聞き取りやアンケート等を実施し、卓球部とバレーボール部（男女）を令和7年8月の移行を目指して準備を行っている。

地域における課題としては、受入団体及び指導者の確保がある。指導者の意見として、保護者対応や事故、怪我等の緊急時の対応、生徒指導に対する不安がある。

今後は、生徒及び保護者が安心してクラブに参加できる、指導者が安心して指導にあたることのできる体制づくりを行っていきたい。

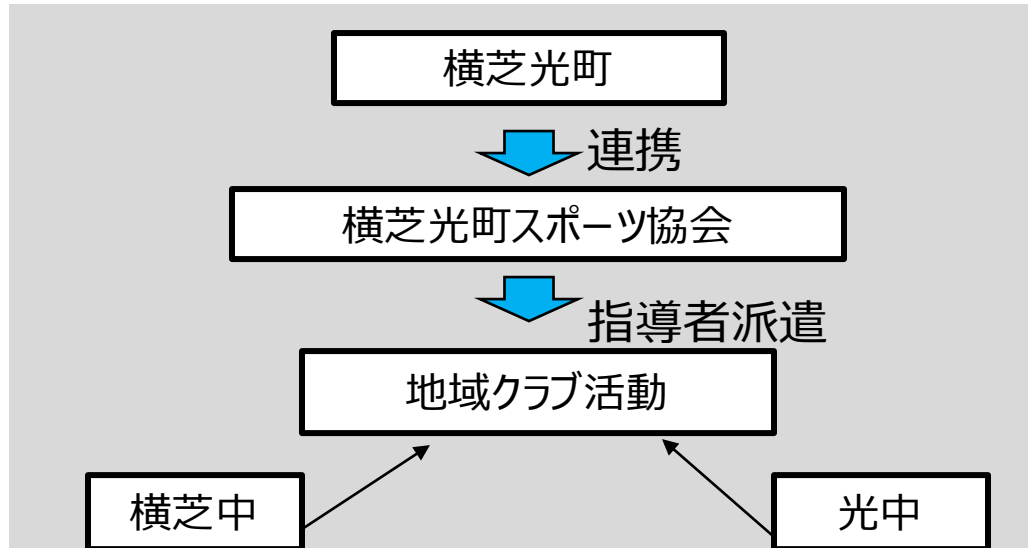
中学校別生徒数 見込み数 (令和6年10月1日現在)

	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度
横芝中	243	243	256	257	239	252	237	246	216	210	202
光中	262	253	257	255	252	229	217	206	194	174	151
合計	505	496	513	512	491	481	454	452	410	384	353

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会（教育課）

- ・地域部活動検討委員会の企画・運営
- ・中学校部活動顧問と地域クラブ指導者との連絡調整
- ・保護者や地域住民への周知、協力依頼

◎首長部局

- ・地域部活動検討委員会の参加
- ・関係団体との連絡調整

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	顧問・指導者・教育委員会打合せ（陸上競技） 部活動保護者会 令和6年度地域クラブ活動（陸上競技）開始
令和6年	5月	部活動地域移行に向けたアンケート（教職員）の実施
令和6年	6月	第1回地域部活動検討委員会
令和6年	6月～11月	町スポーツ協会、町スポーツ少年団等への聞き取り、見学等
令和6年	7月	地域クラブ活動（陸上競技）に関するアンケート（生徒・保護者）の実施
令和6年	12月	第2回地域部活動検討委員会
令和7年	2月	顧問・指導者・教育委員会打合せ（陸上競技）（卓球）（バレーボール）（予定）
令和7年	3月	第3回地域部活動検討委員会（予定）

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	1 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1 クラブ（2 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	11 人	全体の運営スタッフ数	11 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）	横芝光町スポーツ協会陸上競技部	陸上競技	月 4~5 回／週 1 回（など）	8:30~11:30	横芝中陸上競技部、光中学校陸上競技部	令和6年2月~	横芝光町ふれあい坂田池公園陸上競技場、横芝中、光中他	11 人	0 人 （内、兼務 0 人）	月会費 0 円 ／ 年会費 0 円	各中学校の部活動として参加

③その他、体験会やイベント等の開催実績

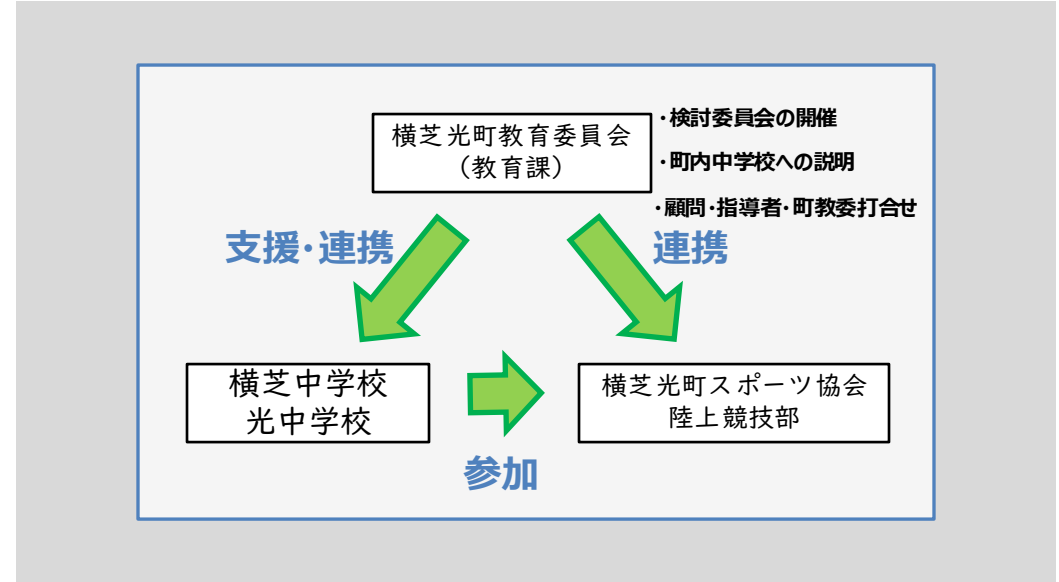
- 横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）保護者説明会の開催（令和6年1月13日）

主な取組例

●横芝光町スポーツ協会陸上競技部 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	陸上競技
運営団体名	横芝光町スポーツ協会陸上競技部
期間と日数	陸上競技：令和6年2月～月4回程度
指導者の主な属性	横芝光町スポーツ協会陸上競技部、横芝中学校職員、光中学校職員
活動場所	横芝光町坂田池公園陸上競技場、横芝中学校、光中学校
主な移動手段	自転車、保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	陸上競技：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者
役割：指導員の派遣・調整、費用の管理等を行う
- 主任指導者 2名
役割：生徒・保護者への連絡、実施場所の確保等を行う
- 運営補助者 8名
役割：生徒・保護者対応、実技指導等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

1. 陸上競技の活動について

令和6年2月より地域クラブ活動を開始し、令和7年度は運営や活動等について課題の洗い出しを行い、生徒や保護者が安心して活動に参加できるように実証事業を実施した。

定期的に部活動顧問・指導者・教育委員会の打合せを実施し、活動における課題を把握し、地域に合わせた活動にできるよう調整を図っている。

2. 次の部活動の地域移行に向けた準備について

部活動検討委員会を年3回開催（第3回を3月に開催予定）し、次の移行する部活動としてバレーボール(男女)、卓球部が決定した。現在は、令和7年8月の移行に向けて、顧問・指導者・教委の打合せを行い、準備を進めている。

今後の課題と対応方針

陸上競技については、来年度も継続して活動を実施し、町の休日部活動のモデルとして令和7年8月から開始予定の部活動の移行にも活用していきたい。また、今後は中学校の休日部活動の移行が進んでいく中で、指導者の確保とともに、社会体育化に向けた準備も進めていきたい。そのために、社会文化課と連携を図りながら休日部活動の地域移行を進めていきたい。

取組の成果

◎陸上競技について

4月当初に、顧問・指導者・教育委員会の打合せを行い、活動方針や指導方針等について確認を行い、指導者同士で連絡や情報交換を密に行うことで、大きな事故や怪我、トラブル等もなく活動を行うことができた。7月に生徒にとつたアンケート「地域クラブ活動（陸上競技）に参加して、困ったことや不安に思ったことはありますか？」の質問に対し、100%の生徒が「ない」と回答した。※P13参照

【連絡方法】

学校で使用している連絡メールアプリとは別のアプリを利用することで、学校の活動と切り離して、活動を行うことができた。月の予定（活動日、活動時間、活動場所の周知）、欠席連絡等

【地域への周知】

中学校の休日部活動について、地域クラブ活動の様子や進捗状況等について広報で伝えることで、今後の部活動の在り方を町民に理解してもらい、町全体で子供たちを育てていく姿勢について伝えることができた。※P14参照

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

【陸上競技】 町スポーツ協会陸上競技部所属の競技経験者7名に兼業兼職を得た町内中学校教職員4名を含めた計11名の指導者を配置している。外部指導者の中には生徒の保護者で、以前からボランティアとして中学校の練習に協力してくれている方もおり、生徒及び保護者も安心して練習に参加している。

【バレーボール】 令和7年8月からクラブ開始予定である。現在は、指導者の確保に当たっている。なお、教職員の兼業兼業についても、今後、町内中学校部活動顧問に確認する予定である。

【卓球部】 受入団体及び指導者の確保にあっている。

登録者属性

【陸上競技】
教職員4名（男3女1）
外部指導者7名（男7女1）

【バレーボール】
調整中

【卓球】
調整中

種目

【陸上競技】
11名（競技経験者7名、兼業兼職の教職員4名）

【バレーボール】
常時4名程度の競技経験者を配置予定

【卓球】

常時2名程度の競技経験者を配置予定

資格有無

陸上競技・バレーボール・卓球において、資格所有者はなし

取組の成果

地域クラブ活動に参加した生徒及び保護者を対象としたアンケートの結果から、「今までもお世話になっていた指導者の方々なので、安心して参加させていただいております。」「指導者の方々の子供達に寄り添って活動しているようで、安心しています。」と回答している。地域クラブ指導員に対する満足度が伺うことができた。

※P12、P13参照

今後の課題と対策

令和7年8月開始予定のバレーボールでは、現在、社会体育で中学生男女を指導している団体及び指導者が中心であるため、陸上競技に習って活動ができればと考えている。しかし、陸上競技とは異なり団体競技であるため、活動を行いながら、課題の把握と改善に努めることができるよう、顧問や指導者と連携をとりながら地域クラブ活動を進めていきたいと考えている。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

横芝光町地域部活動検討委員会を定期的を開催し、関係団体（町スポーツ協会会長、町スポーツ推進委員連絡協議会会長、町PTA連絡協議会会長、千葉県教育庁東上総教育事務所部活動地域移行エリアコーディネーター、各中学校長及び部活動顧問（運動部・文化部から各1名ずつ））等に会議に参加していただき、それぞれの立場から意見をいただいた。

また、町で行っているクラブ団体の代表者とヒヤリングを実施したり、練習の様子を見学したりすることで、地域に根ざした部活動の地域移行について検討しながら関係団体との連携を図った。

取組の成果

令和6年度の検討会では、令和6年2月から開始した陸上競技の活動状況について、課題の洗い出しや解決に向けた検討を行った。また、令和7年8月に移行する部活動の種目や受け入れ団体の選定、指導者の確保等について検討を行った。

今後の在り方として、受け入れ団体が運営していくために、受益者負担額や活動を行うにあたっての部員数の下限も検討し、中学校の部員数の状況を加味しながら検討しなければならないとの意見もあった。

今後の課題と対応方針

今年度は、陸上競技部の次に移行する部活動を検討し、バレーボール部男子、卓球部、剣道部が候補にあがったが、剣道部は受け入れ団体や指導者等の問題、部員数の減少により、移行するのが難しいことがわかった。現在は、バレーボール部（男女）と卓球部の移行に向けて準備を進めている。

今後も、中学校の部活動の状況をみながら、町の実情に合った地域移行を検討していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

合同でクラブ活動を行うことで、仲間とともに競技に親しみ、意欲をもって取り組めるようにする。

また、各学校の部活動の状況に加味しながら、将来的には社会体育化を目指し、中学生だけではなく、子どもから大人まで参加できる『誰でも やりたい スポーツが できる』スポーツを推進する。

各自治体の役割

部活動の地域移行したクラブ活動が施設の予約を優先的にとれるようにしている。

移動手段

ほとんどの生徒が、自転車で練習に参加している。※P13参照

取組の成果

現在、町内には2つの中学校があり、陸上競技部は合同で地域クラブ活動を実施している。令和6年7月に地域クラブに参加する生徒・保護者にとったアンケート結果からも、他校の生徒と一緒に練習できるので、友達も増え、楽しく行っているとの意見もあり、同じ目的に向かって活動を楽しむことができ、生徒の充実した生活に貢献することができている。※P12参照

特に工夫した事項

町内には陸上競技施設があり、立地も両中学校からそれほど遠くない場所にあるため、優先的に利用できるように配慮した。

今後の課題と対応方針

今後は、中学校の生徒数も減少していくため、中学校の部活動の地域移行としてだけでなく、今後は一般の人も参加できるよう、社会体育化に向けて検討していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

現在、両中学校の顧問が陸上競技の専門ではなく、休日部活動の地域移行をすることで、顧問の精神的な負担の軽減や働き方改革にも繋げることができた。また、生徒や保護者にとつたアンケートからも、「練習メニューも部活とは違った内容なので、本人楽しく行っています。」「アドバイスを力に変え、練習・大会等で力を発揮しています。」等の意見を聞くことができた。

練習には常時4名の指導員を配置したことで、生徒個々に合わせた、より専門的な指導（長距離、短距離、跳躍、投擲等）をすることができた。

活動の詳細			
参加人数	23人	指導者数	11人
属性	横芝光町スポーツ協会陸上競技部		
具体的な内容	●陸上競技に関する実技指導		
子供の声	<ul style="list-style-type: none"> ● いつも僕にあった練習をして、強くしてくれてありがとうございます。 ● いつも楽しみながら練習に参加しています。いつもありがとうございます。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> ● 指導者の方々が子供達に寄り添って活動しているようで、安心しています。 ● アドバイスを力に変え、練習・大会等で力を発揮しています。みなさんの指導には感謝です。いつも、ありがとうございます。 ● 他校の生徒と一緒に練習できるので、友達も増え、練習メニューも部活とは違った内容なので、本人楽しく行っています。 ● 今後、完全に学校職員が関わらなくなってしまうたら、運営に保護者や指導者の負担が大きくなると思います。部活とは別物という意識が双方に必要だと思います。特に、移動中の安全や活動中の見守り等で、実際に心配な時がありました。 		
運営経費	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ保険（生徒23人・指導者11人） （生徒：800円/人、指導者：1,850円/人） ● 諸謝金 活動1回につき指導者4名配置（1人：1,600円/時間×3時間）等 		

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

今年度は、地域部活動検討委員会を定期的開催し、新たに千葉県教育庁東上総教育事務所部活動エリアコーディネーターにも会議に参加していただき、町の実情に合わせた部活動の地域移行について検討を行った。

令和6年2月から開始した陸上競技については、4月に顧問・指導者・教育委員会の打合せや保護者会で地域移行に関する説明等を丁寧に行うことで、今年度もスムーズに活動を行うことができた。また、1年を通して、大きなトラブルや事故、怪我等もなく、順調に行うことができた。

今年度は、もう一つの検討内容として、次に移行する部活動の決定があった。令和6年6月の検討会で、バレーボール部男子、卓球部、剣道部の移行を検討したが、受け入れ団体や指導者の問題等もあり、バレーボール部（男女）と卓球部を地域移行することになった。現在は、令和7年8月の移行に向けて準備を進めている。

●成果の評価

令和6年2月から開始した陸上競技の課題の洗い出し等を行うことで、今後、地域移行する部活動のモデルと考えることができるようになった。また、受益者負担や持続可能なクラブ活動を行っていくための運営に関する検討も行うことができた。

しかし、競技によっては、受け入れ団体や指導者が見つからず、地域移行を見送る部活動もあり、部活動の地域移行の難しさを感じた。

●今後に向けて

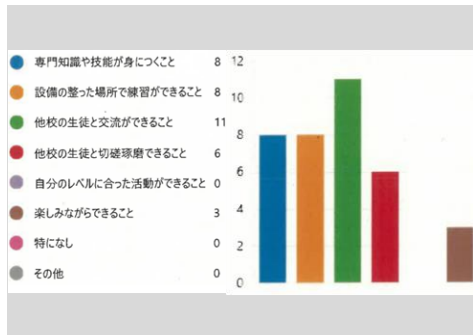
令和7年度は、8月に予定されるバレーボール部（男女）と卓球部の地域移行に向けて、地域部活動検討委員会の開催、教職員や生徒・保護者への周知、顧問・指導者・教育委員会の打合せ等を計画的に行い、準備を進めていきたい。

また、中学校の部活動の状況を把握し、さらに移行する部活動の準備も同時に進めていきたい。

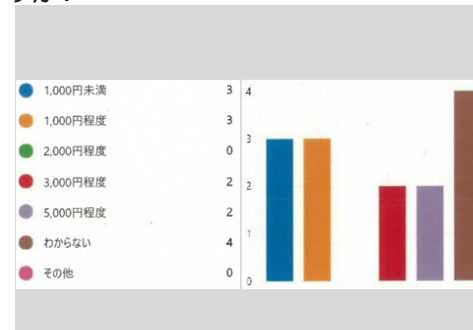
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者）

Q.地域クラブ活動（陸上競技）に参加して、良かったことは何ですか？



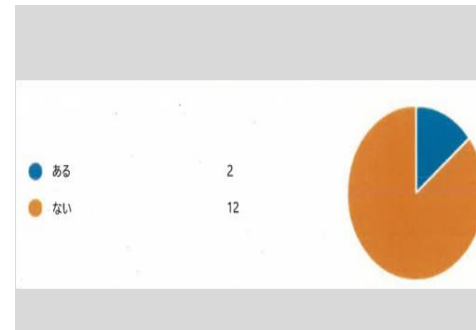
Q.地域クラブ活動の参加費について、今後、受益者負担となった場合、参加費等（月額）はいくらまで負担できますか？



Q.地域クラブ活動（陸上競技）に参加して、心配や負担になることはありますか？



Q.活動や運営等について、改善が必要なることはありますか？



●参加者の声（保護者）

中学2年生（男子）保護者

他校の生徒と一緒に練習できるので、友達も増え、練習メニューも部活とは違った内容なので、本人楽しく行っています。

中学3年生（女子）保護者

今までもお世話になっていた指導者の方々なので、安心して参加させていただいております。

中学3年生（女子）保護者

アドバイスを力に変え、練習・大会等で力を発揮しています。みなさんの指導には感謝です。いつも、ありがとうございます。

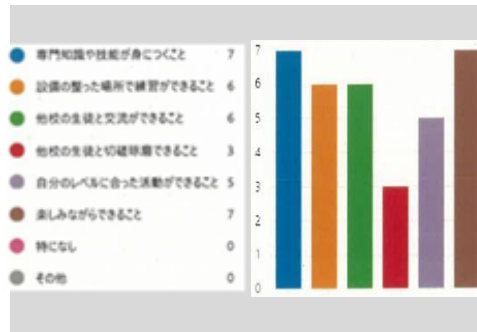
中学3年生（女子）保護者

今後、完全に学校職員が関わらなくなってしまうと、運営に保護者や指導者の負担が大きくなると思います。部活とは別物という意識が双方に必要だと思います。特に、移動中の安全や活動中の見守り等で、実際に心配な時がありました。

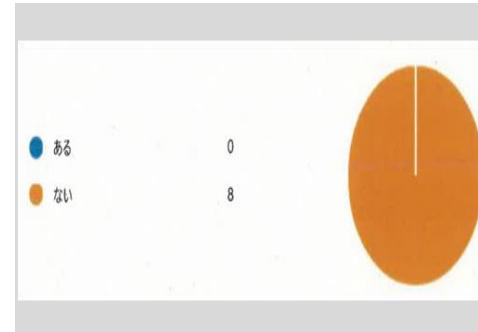
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（生徒）

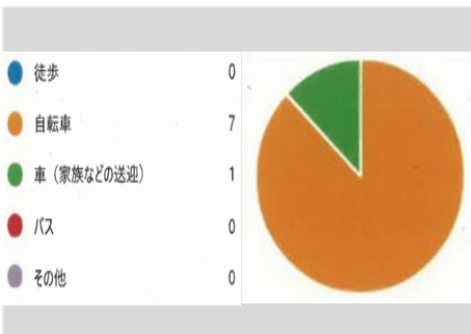
Q.地域クラブ活動（陸上競技）に参加して、良かったことは何ですか？



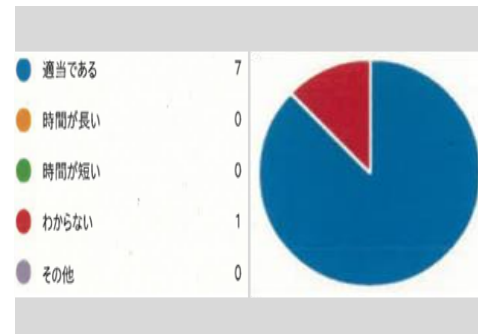
Q.地域クラブ活動（陸上競技）に参加して、困ったことや不安に思ったことはありますか？



Q.活動までの移動手段（頻度が最も多いもの）を教えてください？



Q.活動時間（土日祝日は3時間程度）については、どう思いますか？



横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）に関するアンケート（実施機関：令和6年7月3日～19日）の結果抜粋

●参加者の声（保護者）（生徒）

中学校1年生（男子）保護者

大きな大会等にコーチが応援に来てくれると、子供のモチベーションも上がると思う。もちろん、気持ちの範囲で。

中学2年生（男子）保護者

指導者の方々が子供達に寄り添って活動しているようで、安心しています。

中学1年生（男子）生徒

いつも僕にあった練習をして、強くしてくれてありがとうございます。

中学2年生（男子）生徒

いつも楽しみながら練習に参加しています。いつもありがとうございます。

アンケート結果・広報資料

令和6年2月から、横芝中学校陸上競技部と光中学校陸上競技部の休日部活動を地域クラブ活動に移行したことを踏まえ、同年3月に町広報紙に活動の様子を掲載した。

活動が開始してから約半年が経過し、中学3年生が部活動を引退する機会を踏まえ、令和6年7月に活動に参加した生徒・保護者に、アンケート調査を実施した。※詳細は、P12、13を参照

部活動の地域移行が始まりました
町教育課教職員・指導室
 ☎(84)4116
 町では、中学校の休日部活動について、県教育委員会のガイドラインに従い、準備を進めてきました。令和5年度は、町で1部活動の移行に伴い、横芝中学校と光中学校の陸上競技部のモデル事業を令和6年2月から開始しました。また、他の部活動についても、準備が整い次第、順次移行する予定です。



横芝・光中学校陸上競技部の休日部活動の様子

【生徒への参加啓発チラシ】

出典:横芝光町広報令和6年3月号

令和6年度横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）に関するアンケート（保護者）

14 応答 09:19 完了するのにかかった平均時間 アクティブ 状態

1. 所属中学校名



2. 学年



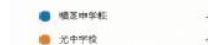
3. 性別



令和6年度横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）に関するアンケート（生徒）

8 応答 01:51 完了するのにかかった平均時間 アクティブ 状態

1. 所属中学校名



2. 学年



3. 性別



【アンケート結果】

出典：横芝光町地域クラブ活動（陸上競技）に関するアンケート（実施機関：令和6年7月3日～19日）の結果抜粋

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ミーティング風景】



【練習風景 1】



【練習風景 2】



【練習風景 3】

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年2月	協議会設置 検討開始	<ul style="list-style-type: none"> ・町スポーツ協会、町スポーツ少年団へのアンケート調査の結果報告 ・中学校教職員へのアンケート調査の結果報告 ・各中学校の部活動の活動状況 等
令和5年6月	移行する部活動の決定、受け皿団体や指導者の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・町における「休日部活動」の移行について関する共通理解 ・地域クラブ活動のモデル部活動の決定 ・地域移行に向けたスケジュールの確認
令和5年10月	顧問、指導者、教育委員会の打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に関する検討（事故や怪我が発生した場合の対応、保護者への連絡方法等）
令和6年1月	教職員及び生徒、保護者への説明	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者説明会の実施 ・中学校の「休日部活動」の地域移行について（生徒、保護者への周知） ・教職員の兼職兼業について
令和6年2月	地域クラブ活動の開始	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒及び保護者アンケートの実施 ・地域移行の在り方についての研究 ・地域クラブ活動開始に関する町民への周知
令和6年6月	地域クラブ活動の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ・地域部活動検討委員会（成果報告、検討課題について） ・受益者負担の在り方及び運営に関する検討 ・次の部活動の移行に関する検討

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
スポーツ庁・文化庁の方針	町で1部活動の地域移行	各中学校で1部活動の地域移行	各中学校で複数の部活動の地域移行及び推進計画の策定	推進計画に従い、速やかに全ての部活動の地域移行
横芝光町部活動の地域移行		陸上競技部	バレーボール部・卓球部	〇〇部
			部活動の地域移行に関する推進計画の策定	
横芝光町教育委員会	町地域部活動検討委員会の企画・運営、顧問・指導者・教育委員会の打合せの実施			
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行に関する情報を教職員、保護者、地域への周知、協力依頼 ・教職員の兼職兼業についての周知 ・中学校部活動顧問と地域クラブ活動指導者との連絡調整 ・クラブに参加する生徒・保護者へのアンケート調査 			

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 長生郡睦沢町

自治体名：千葉県長生郡睦沢町

担当課名：教育課

電話番号：0475-44-2509

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	35.59 km ²
人口	6,549 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	146 人
部活動数	6 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	令和5年6月 睦沢町地域クラブ活動推進協議会を設立
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定検討中 (基本方針については令和6年度策定済み)

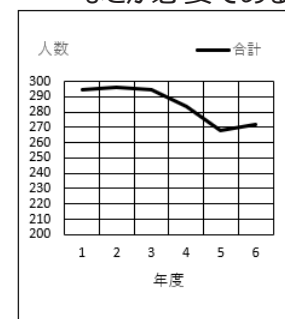
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

睦沢町は人口が7千人に満たない小規模な町であり、約150人程の生徒が在籍している睦沢中学校の1校のみである。運動部活動は6部活が活動しているが、どの部活も少子化の影響からメンバーが少なく、特に団体競技であるサッカー部は単独ではチームも作れない状況である。人口が少なく、少子化が進行している中で部活のメンバーを集めることは困難であるため、広域連携を行っていくことが求められる。

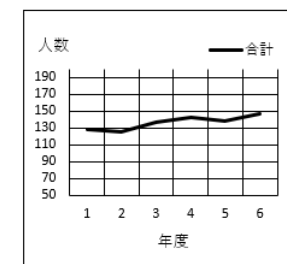
また、指導者の確保の面では本町には駅がな

いために遠方から指導者を呼ぶことが難しい。必然的に限られた範囲で指導者を募ることになるので条件に合う指導者を見つけるのが困難である。また、未だに保護者の中で部活動は費用がかからないという認識が根強いために丁寧に説明を行い、地域クラブ活動に関しては受益者負担が原則であることを浸透させていくことが重要である。そのためには、学校に代わる休日のスポーツ活動の受け皿の構築が必要であり、その活動に関して保護者が支払可能な費用の調査などが必要である。

種別	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
睦沢小学校	1年生	60	44	49	42	36	38
	2年生	43	61	45	48	40	38
	3年生	45	45	60	46	46	42
	4年生	52	48	43	57	45	49
	5年生	49	50	48	45	57	47
	6年生	46	48	50	46	44	58
	合計	295	296	295	284	268	272



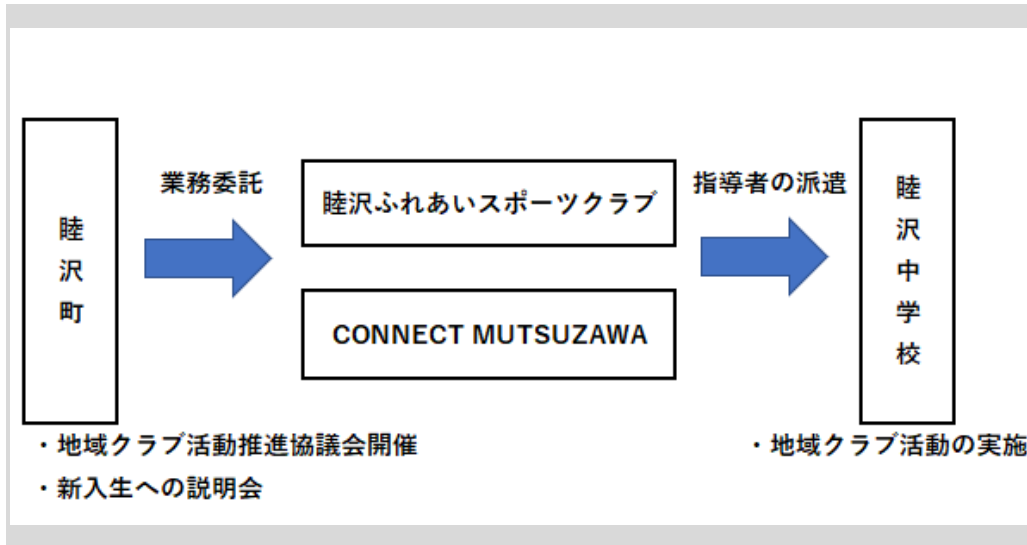
種別	学年	R1	R2	R3	R4	R5	R6
睦沢中学校	1年生	44	44	47	50	42	47
	2年生	39	44	45	47	50	47
	3年生	45	37	45	46	46	52
	合計	128	125	137	143	138	146



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

- ・学校と運営団体との調整
- ・指導者からの相談対応
- ・運営協議会の事務局
- ・地域クラブ活動に関する周知

◎首長部局

- ・委託契約の書類作成

年間の事業スケジュール

- | | |
|---------|---|
| 令和6年4月 | ・地域クラブと再委託契約締結
・卓球部とバレーボール部の地域クラブ活動を開始
・男子バレーボールクラブチーム仮運用開始 |
| 令和6年6月 | ・第1回地域クラブ活動推進協議会を開催 |
| 令和6年7月 | ・男子バレーボールクラブチーム本運用（平日の活動開始） |
| 令和6年9月 | ・児童・保護者及び教職員にアンケートを実施 |
| 令和6年12月 | ・基本方針及び保護者向けのQ&Aを作成 |
| 令和7年1月 | ・新入生説明会で地域移行について説明、チラシの配布
・第2回地域クラブ活動推進協議会を開催 |
| 令和7年2月 | ・事業終了 |

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	2クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		2クラブ（2部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		
全体の指導者数	6人	全体の運営スタッフ数	8人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
睦沢ふれあいスポーツクラブ	総合型地域スポーツクラブ運営型	卓球・バレーボール（女子）	月4回／週1回	土日のどちらか3時間	1年 12人 2年 11人 3年 16人	4月～2月	睦沢中学校	4人	6人 (内、兼務2人)	-	部活動
CONNECT MUTSUZAWA	民間	バレーボール（男子）	月4回／週1回 休日 月12回／週3回 平日	土日のどちらか1日 平日の3日	1年 3人 2年 1人 3年 10人	4月～2月	睦沢中学校	4人	4人 (内、兼務2人)	年会費 15,800円 (など)	地域クラブ

2.実証内容と成果

主な取組例

●活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球、バレーボール
運営団体名	睦沢ふれあいスポーツクラブ CONNECT MUTSUZAWA
期間と日数	卓球・バレーボール(女子) : 月 4回/週 1回 バレーボール(男子) : 月 4回/週 1回(休日) 月 12回/週 3回(平日)
指導者の主な属性	スポーツ指導員・外部指導者
活動場所	睦沢中学校
主な移動手段	自転車・徒歩
1人あたりの参加会費等(年額)	バレーボール(男子) : 15,800円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり : 800円/年 指導者1人あたり : 1,850円/年

●運営体制図(地域クラブ活動を実施する際の運営体制図)



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

統括責任者

役割 : 活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●主任指導者 2名

役割 : 活動における主任者として、生徒への指導を行う

●運営補助者

役割 : 活動において、主任指導者の補助として、指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

● 取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

以前より実施していた卓球・バレーボールの地域クラブ活動に関して、継続して実施した。「睦沢ふれあいスポーツクラブ」等と業務委託契約を締結して、毎週土曜日、また男子バレーボールクラブチームについては、平日の3日間指導者を睦沢中学校に派遣する形式で事業を実施した。

町スポーツ関連団体との連携会議を実施することで各方面からの人材確保や発掘などに努めた。

取組の成果

卓球・バレーボール(女子)部及び男子バレーボールクラブチームに関しては、来年度以降も継続して実施できる環境の構築ができた。

特に、男子バレーボールについては、クラブチームが設立され、広域的な活動がなされることが大きな成果であると考えられる。このことにより、休日に加えて平日の活動も移行したことで完全移行が実現できた。

また、町スポーツ関連団体との連携会議を地域クラブ推進協議会の会議と併せて開催することで、学校部活動や地域クラブの現状、人材確保の必要性について情報共有がなされた。このことで、新たな地域クラブの設立や指導者の確保にも繋がると考える。

今後の課題と対応方針

地域クラブに移行することで発生する受益者負担額や送迎問題については、まだ抵抗を持つ保護者がいるため、継続して周知・説明を行っていく必要がある。また、男子バレーボールクラブチームのような広域連携のモデルをその他の種目でも確立し、生徒のスポーツ活動の機会を提供できるよう取り組んでいく必要があると考える。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

本町における休日部活動の地域移行に向けた取組みについては、令和5年6月に睦沢町地域クラブ活動推進協議会を設立し、令和8年度からの移行について協議を進めている。

年2回の協議会の開催では、活動実績や今後の取り組み方、問題点などを協議し、その後、現時点での基本方針や保護者向けQ&Aの作成を行った。

また、9月には、小学校の児童・保護者向けのアンケートを実施し、休日の部活動の移行に関する意識調査を図ることができ、移行に向けた生の声を聴くことができた。

卓球部・女子バレーボール部の休日の活動については、継続しており、定着してきている。

また、今年度は、男子バレーボールクラブチームが発足され、総体終了後には、男子バレーボール部の発展的解消、クラブチーム化が実現し、休日のみならず平日の活動も実施した。

●成果の評価

本年度の実施計画のとおり、一年間を通して活動ができたと考えている。

特に、男子バレーボールについては、クラブチームが設立され、広域的な活動がなされることが大きな成果であると考え。このことにより、休日に加えて平日の活動も移行したことで完全移行が実現できた。

また、地域クラブ推進協議会の会議と併せて町スポーツ関連団体との連携会議を開催することで、学校部活動や地域クラブの現状、人材確保の必要性について情報共有がなされた。このことで、新たな地域クラブの設立や指導者の確保にも繋がると考える。

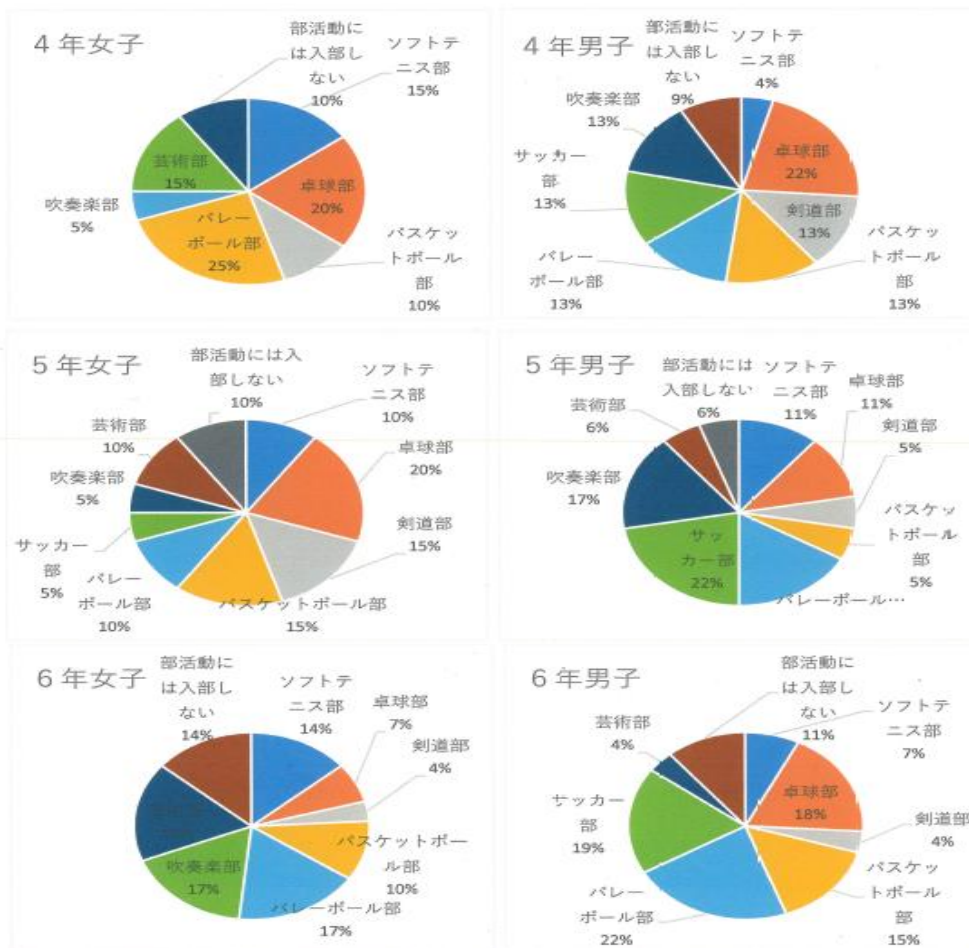
●今後に向けて

今後に向けては、女子バレーボール部についても男子バレーボールクラブチーム同様に、地域クラブの「CONNECTMUTSUZAWA」を利用する形で平日の移行について仮運用を実施し、完全移行を目指す。また、総合型地域スポーツクラブの「睦沢ふれあいスポーツクラブ」を活用し、そこでの教室、またその施設の利用団体で生徒の受け入れが可能な団体について調査し、所属している部活と同じもの、また休日の学校部活動の変わりとなるような種目について機会の場を提供する。人材確保についても町スポーツ関連団体との連携を密にし、新たな地域クラブの設立について支援する。

2.実証内容と成果②

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

- アンケート結果 4年生：男子20名中13名回答／女子26名中17名回答
- 5年生：男子21名中12名回答／女子25名中16名回答
- 6年生：男子25名中18名回答／女子31名中24名回答



問1

中学校に入学後、現在ある部活の中で入部したい(させたい)部活動はありますか。

●回答に対する分析

全体で見るとバレー部が17%と最も多く、次いで卓球部の16%、サッカー部、バスケ部、吹奏楽部、テニス部、剣道部、芸術部の順となっている。

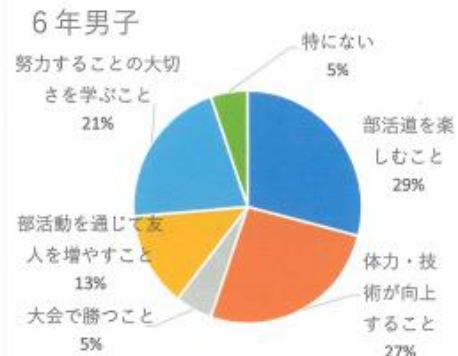
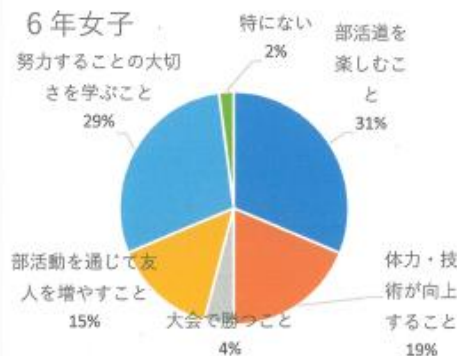
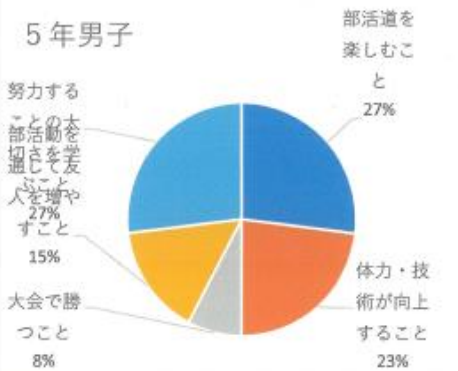
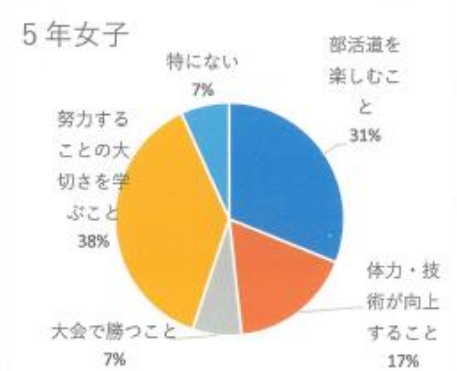
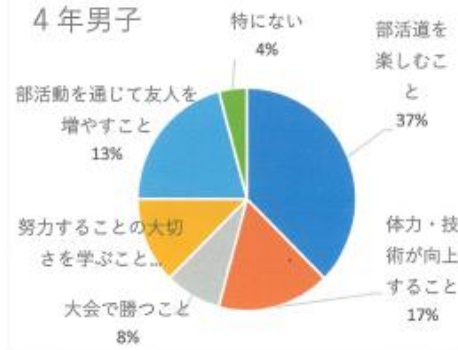
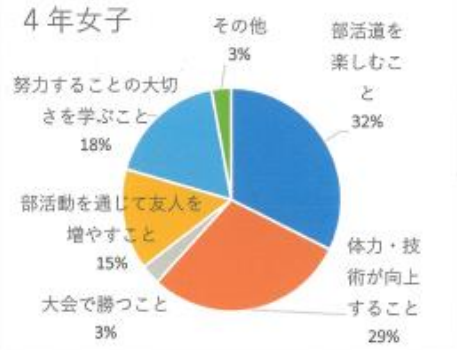
男女ともに運動系に入部したいという回答が多い中、比較的部員数の少ないサッカー部に入部したいという声が男子児童全般に高いことが分かる。

また、文科芸術系である吹奏楽部、芸術部について見ると女子児童に限らず、男女児童ともに10%近い数値となっており、特に4・5年生男子児童で非常に多く、5年生男子児童では17%を占めている。

そんな中で、部活に入部しないと回答した児童の割合も、全学年平均で10%に上り、6年生に至っては12.5%となっています。個別の部活動と比較しても、大きな差はないことや上回っていることが分かる。

また、本アンケートへの回答率は、全体の67%で、残りの33%が未回答となっている。このことから推測しても、部活に入部しないと回答する割合は、さらに増えることが予想される。

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施



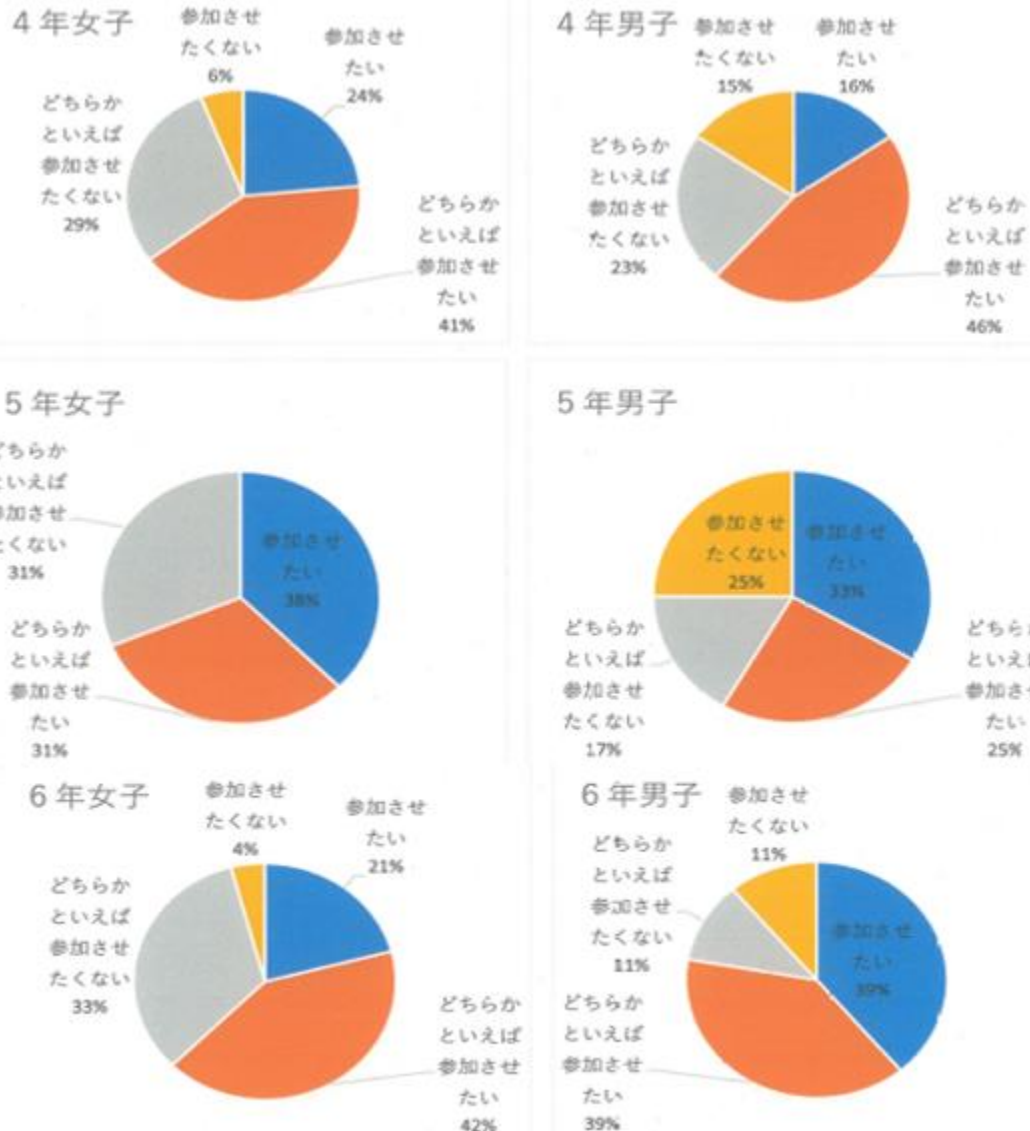
問2
 中学校の部活動について、特に期待することを教えてください。

● 回答に対する分析

全学年をとおして、「部活動を楽しむこと」が最も多く3割を超える結果となった。次いで、「体力・技術の向上」、「努力することの大切さ」が多いことが分かる。それに次ぐのが、「部活動を通して友人を増やす」となっているが、この回答については、都市部では高い傾向にありますが、本町においては小中学校が1校ということもあり、友人関係が既に構築されていることの現れではないかと考える。

そんな中で、「大会に勝つ」との回答については、全体で見ても6%と少なく、大会で優勝を目指すというよりは、まず部活動を「楽しむこと」、「親しむこと」を期待する、又その活動をとおして「体力技術面の向上を図りたい」や「努力することの大切さを学びたい」といったような体力や精神面の向上、成長意欲に繋がることを期待する児童・保護者が多いことが分かる。

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施



問3

休日の活動が学校部活動ではなく、地域にあるクラブチーム等で行うこととなった場合、その活動に参加したい(させたい)と思いますか。

● 回答に対する分析

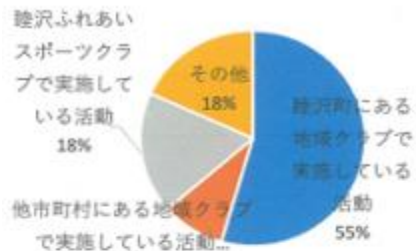
参加させたい等の意見が65%、参加させたくない等の意見が35%を占める結果となった。

設問1での回答で、部活動に入部したい(させたい)と回答した割合が9割近くに上ったのに対し、休日の活動に参加したいとの意見は6割強に留まった。この結果から学校での部活動には参加するが、学校部活動の延長ではなく、地域クラブチームでの休日の活動となると若干参加を思い悩むという結果となったことが分かる。これは、設問2であった部活動に期待する楽しみたい、親しみたいといった考えに対し、クラブチームの印象が、大会での優勝、個人成績重視等といったイメージがまだ強く、そのあたりも影響しているよう思料される。

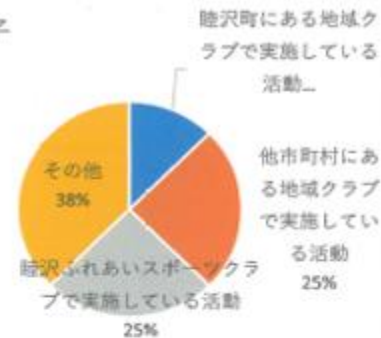
2.実証内容と成果②

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

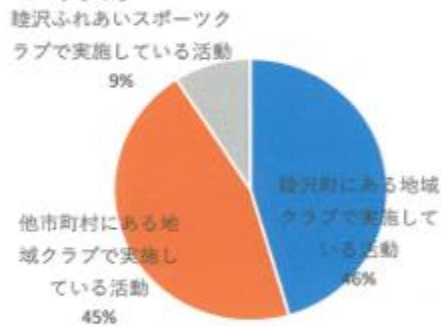
4年女子



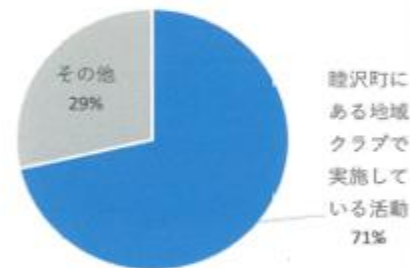
4年男子



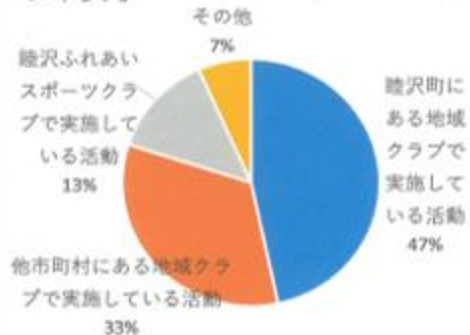
5年女子



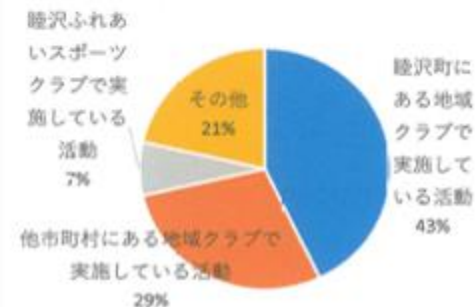
5年男子



6年女子



6年男子



問4

問3で「参加したい」「どちらかといえば参加したい」を選んだ方にお聞きします。それは、どのような活動ですか。

● 回答に対する分析

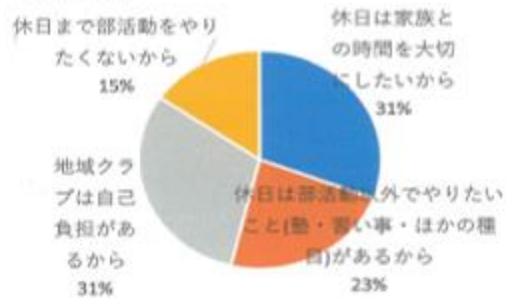
睦沢町にある地域クラブ活動と回答する方が多い中、他市町村にある地域クラブと回答する方も同様に多いとの結果となりました。後者の回答には、送迎に関する不安の声も挙げられていたことから、地域クラブ活動は塾や習い事のような位置づけであり、その活動を希望する際には、同じように保護者の協力が必要であると考えられます。

また、回答した児童・保護者の中には、地域クラブチームに加入し、現状の休日の活動に満足しており、既に休日の地域移行となっているケースもあると思料されます。

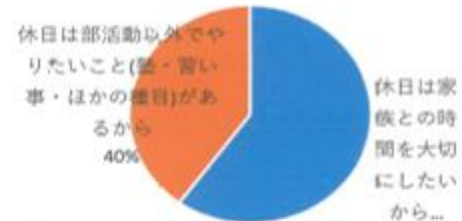
2.実証内容と成果②

今後の地域移行に関する取り組みの参考とするため小学校の児童・保護者へアンケートを実施

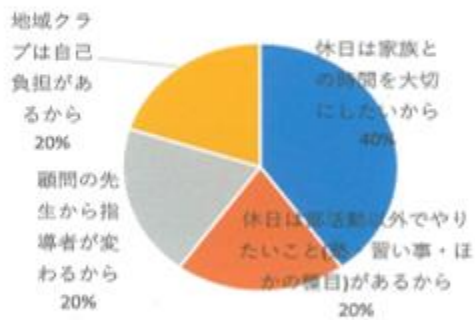
4年女子



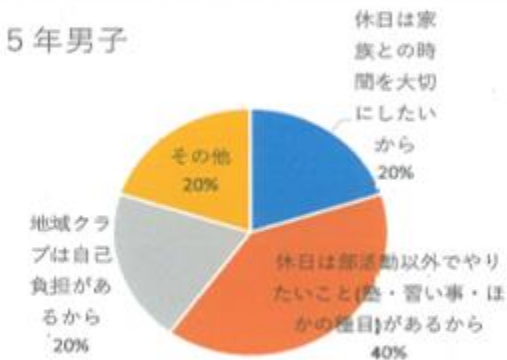
4年男子



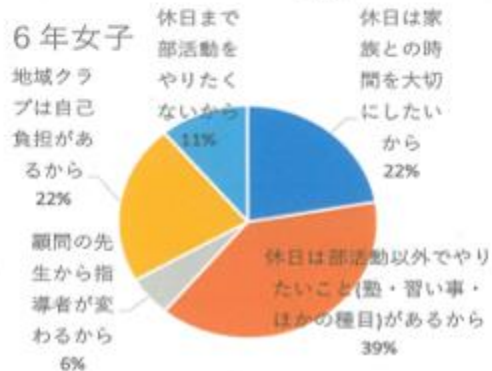
5年女子



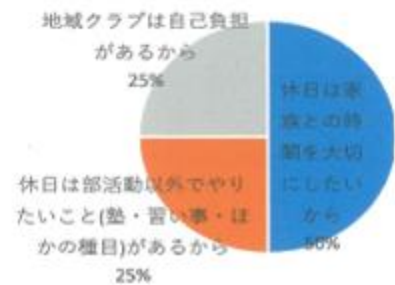
5年男子



6年女子



6年男子



問5

問3で「参加したくない」「どちらかといえば参加したくない」を選んだ方にお聞きします。それは、どのような活動ですか。

● 回答に対する分析

「家族との時間を大切にしたい」と「部活動以外でやりたいことがある」が併せて7割近い回答となった。

これを見ると、希望する種目や地域クラブチームが町内に無いことで、休日の活動を諦めるというよりは、プライベートな時間の確保や塾・習い事のような各々で決めた活動があることにより、参加をしないという意見が大半であることが分かる。

休日の活動に参加しない（させたくない）と考える児童・保護者については、与えられた活動の機会や場の提供を求めるという受けて側というよりは、各々が主体的に判断し、必要があれば、最適な活動の場を自らの考えと行動で選び、決定しているもの、又決定したいという考えが強いのではないかと考えられる。

その一方で、地域クラブ活動に移行することにより、発生する自己負担を理由とする回答も2割強占めていることから設問3の回答にも経済的理由が少なからず影響していることも考えられ、今後対策を講じる必要もあると思料される。

広報資料



U-15 男子バレーボールクラブチーム
CONNECT MUTSUZAWA (コネクトムツザワ)

2024春始動！メンバー大募集！

練習日：平日 18：00～20：00 睦沢小 or 睦沢中
 土日 12：00～20：00 睦沢中
 (※平日は火・水・木、土日は上記時間内のいずれか3時間程度を予定)

入会費：3,000円
 会費：1,000円/月
 保険：800円/年(スポーツ保険)
 登録費：500円/年(JVA-MRS登録料)
 練習着：1,500円(半袖Tシャツ)

2024年秋の新人戦から中体連、
 県バレー協会及びその他の大会
 に参加予定です。

- 初心者も経験者も大歓迎！睦沢中学校バレー部コーチが丁寧に指導します。
- 中学校でどの部活に入ろうか迷ってませんか？CONNECTでバレーやろう！
- 小学生の習い事はCONNECT。一緒にバレーやろう！

下記日程で体験会を開催いたします。

2/23(金・祝) 9～12時 睦沢小学校体育館

対象：新中学2年生(現中学1年生)
 新中学1年生(現小学6年生)
 新小学6年生(現小学5年生)

申し込みはこちらまで
 連絡先：今村(イマムラ)
 メール：aivb138@gmail.com

- 予定が合わない場合はご連絡ください。個別に対応します！

インスタのDMでも可

新入生説明会で配布

睦沢町教育委員会

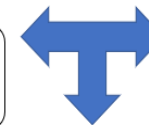
休日の中学校の部での活動を地域へ移行します



令和4年12月にスポーツ庁・文化庁の「学校部活動及び新たな地域クラブの在り方等に関する総合的なガイドライン」により、全国的に休日の学校部活動は地域へ移行していく方針となりました。睦沢町でも千葉県地域クラブ活動体制整備事業を活用し、卓球部とバレーボール部で地域移行に向けた実証事業を行っており、男子バレーボールに関しては部活動の発展的解消によるクラブチーム化が実現しています。このように、本町でも令和8年度からの休日部活動の完全地域移行を目指し、取り組みを行っているところです。

学校部活動の現状

- 少子化に伴い、単一学校での部員の確保・部活動の維持が困難
- 教員の働き方改革が必要



社会の状況

- 多様なニーズに対応し、生涯にわたってスポーツや文化・芸術活動に触れる機会を増やす

持続可能な部活動

睦沢町の休日の学校部活動と地域クラブ活動の考え方は・・・

休日の活動については、平日の学校部活動の種目にとらわれることなく、あくまで子どもたちがスポーツ・文化芸術活動に触れ、楽しむ・親しむことを目的とした活動場所として考えます。平日は、今までどおり学校部活動で、令和8年度からは、休日の活動も希望する生徒は、種目問わず地域クラブ等に加入し活動します。その加入は任意となり、受益者負担が発生します。休日の部活動の地域移行については、睦沢町に希望する種目の地域クラブがない場合であっても、平日の学校部活動を地域(町内)が全て引き受けることは難しいので、令和8年度以降は、子どもたちの休日の活動の機会となるよう睦沢ふれあいスポーツクラブや地域クラブで行う活動を休日の子どもたちのスポーツ活動及び文化・芸術活動の場とします。また、近隣市町村で加入が可能な地域クラブ等がある場合も情報提供を行います。このように、中学校の部活動は、“平日は今までどおり学校での部活動、そして休日は部活動ではなく、各々が選択した地域クラブ活動”に変わります。

問い合わせ 睦沢町教育委員会教育課学校教育班 (Tel.44-2509)

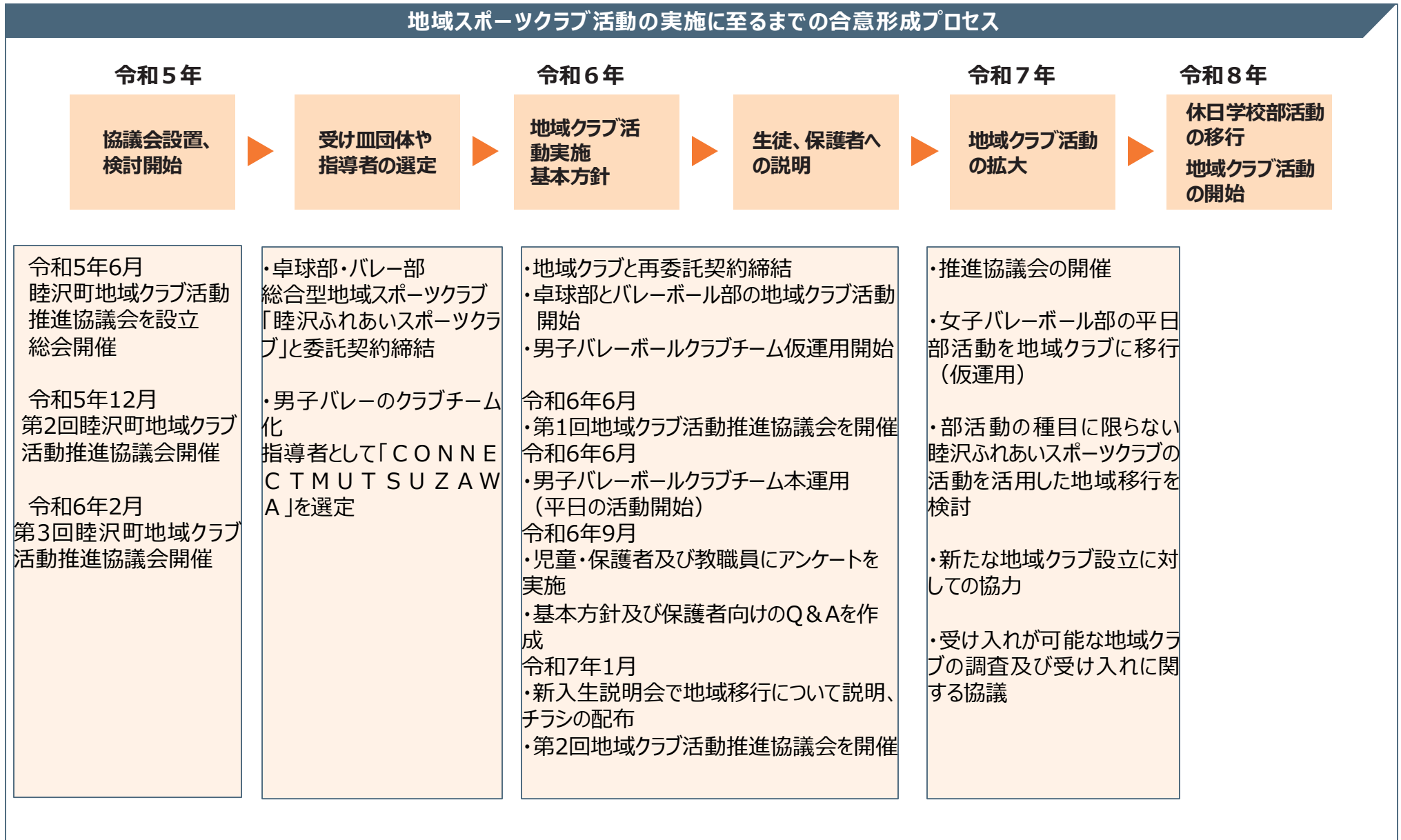
2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



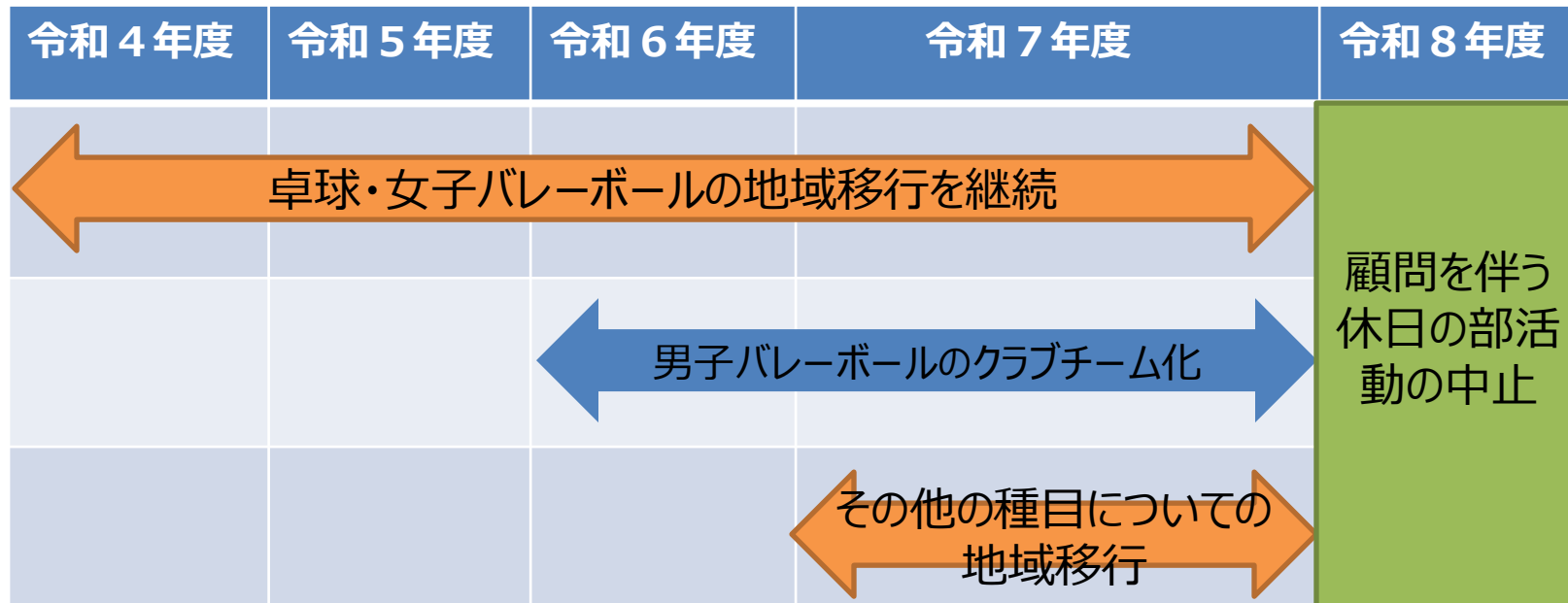
2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス



3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

千葉県 大多喜町

自治体名：千葉県大多喜町

担当課名：教育課

電話番号：0470-82-3010

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	129.87 km ²
人口	8,163 人
公立中学校数	1 校
公立中学校生徒数	170 人
部活動数	6 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

年々人口減少及び少子高齢化が進み、中学校の生徒数や教職員数は減少している。それに伴い部活動は、今後廃部や活動の縮小などに追い込まれる可能性がある。

現在 6 部活動が活動しているが、1 校単独ではチームが組めず他校と合同チームを組む部活が出始めた。昨今の出生者数を見ると団体スポーツの将来的な存続は厳しい。

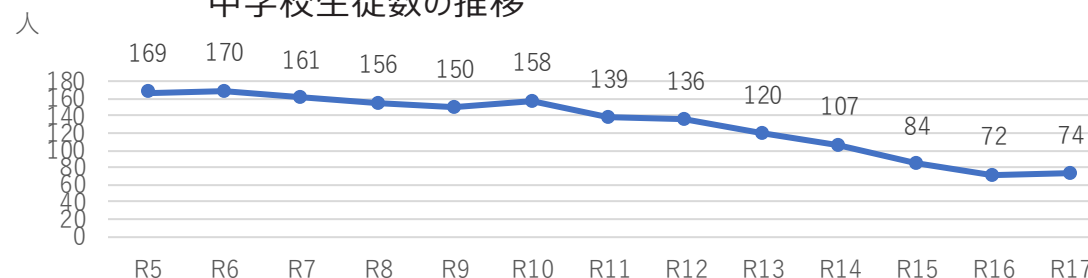
また、「学校の働き方改革」が求められている中、教員が顧問を務めるこれまでの指導体制を継続することは一層難しくなっている。

このような状況の中、令和 5 年に「大多喜町部活動検討委員会」を設置し、将来のスポーツ・文化芸術環境について、協議を重ねてきた。

その結果、「子どもから大人までの持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築」「現在行われているすべての休日の部活動の地域移行」を目指すことが確認された。また、生涯スポーツ・文化芸術環境の充実のため、地域移行の受け皿として、「総合型地域スポーツクラブ」の設立を推進すること、広域連携を視野に入れた地域移行を検討することの重要性が確認された。

指導者の確保、地域移行に対する保護者等の理解と認識の共有、指導者報酬などの財源確保、保護者の費用負担など、解決しなければならない課題が多くあるが、地域で緊密に連携する体制を築き、持続可能なスポーツ・文化芸術環境の構築を目指していきたい。

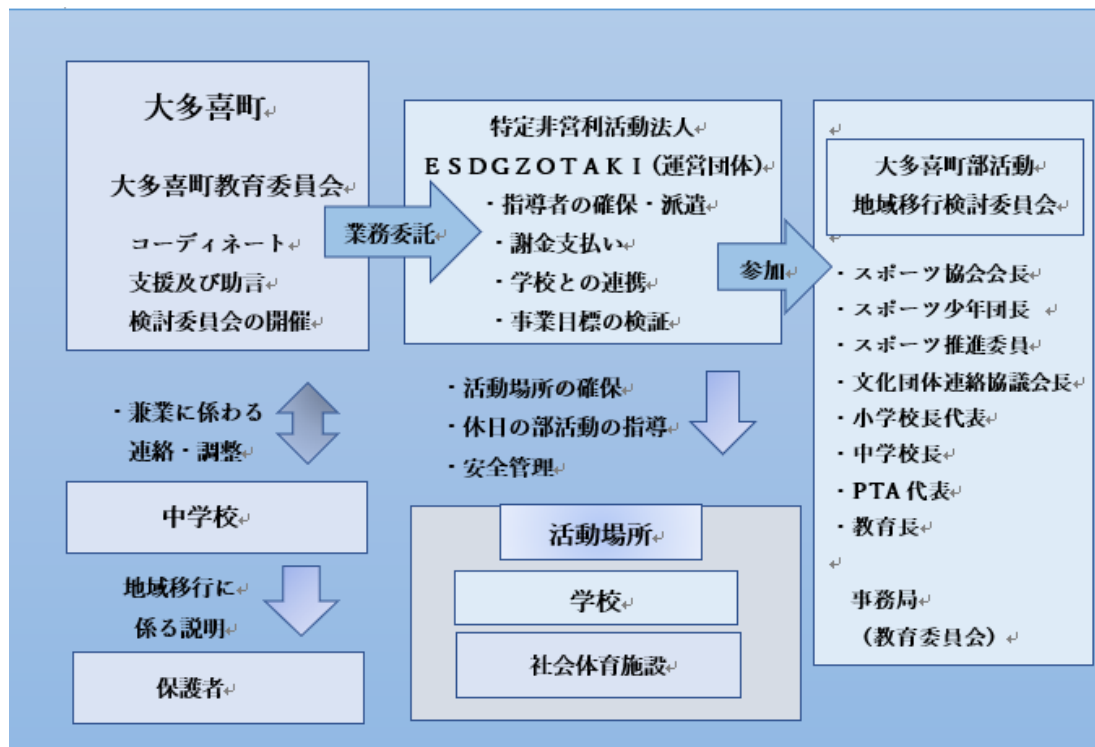
中学校生徒数の推移



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

・教育課・生涯学習課で連携し、地域移行に係わる準備の運営を行っている。

年間の事業スケジュール

令和6年 4月	中学校説明会（保護者・教職員）の開催
令和6年 6月	第1回検討委員会の開催
令和6年 7月	プロポーザル方式で委託業者の公募
令和6年 8月	業者選定 委託契約 業者との打合せ会議
令和6年 9月	研修会の実施 （対象：運営団体スタッフ・地域クラブ指導者・学校代表）
令和6年 10月	地域クラブ活動開始
令和6年 11月	第2回検討委員会の開催
令和7年 2月	第3回検討委員会の開催

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	1校	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（1部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	1人	全体の運営スタッフ数	2人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
剣道クラブ	特定非営利活動法人	剣道	休日週1回	8:30-12:00	中1：3人 中2：6人	令和6年10月～	大多喜中学校 剣道場	1人	2人	なし	全て/ 部活動

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 令和6年 9月 保護者会の開催

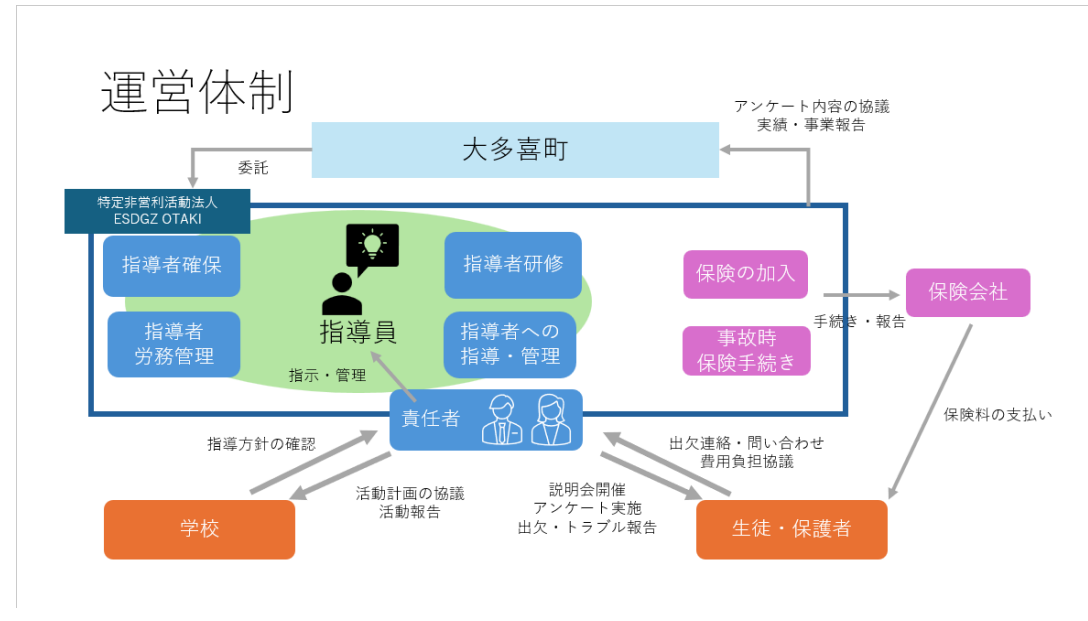
2.実証内容と成果

主な取組例

●剣道クラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	剣道
運営団体名	特定非営利活動法人ESDGZ OTAKI
期間と日数	剣道：10月19日～2月22日 週1回程度
指導者の主な属性	教職員の兼職兼業
活動場所	大多喜中学校内剣道場
主な移動手段	保護者による車での送迎 等
1人あたりの参加会費等（年額）	剣道：なし
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：活動時間（前後1時間を含む）に参加者の保護者との連絡体制を整える。指導者や学校との指導内容や方針の検討をする。

●主任指導者 1名

役割：実技指導を行う。統括責任者や学校と指導内容や方針の検討をする。

●運営補助者 2名

役割：財政管理や、保護者や参加者へのアンケート調査を行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・「大多喜町部活動地域移行検討委員会」の開催
・保護者・地域指導者への理解の促進

取組の 成果

- ・地域移行の目指す姿、解決すべき課題、進め方等が、より明確になった。
- ・総合型地域スポーツクラブの設置や活用を推進すること、近隣市町と連携した地域移行を検討することの重要性について、関係者間で確認することができた。
- ・総合型地域スポーツクラブを活用した地域移行の方針や運営体制の構想をまとめることができた。
- ・地域クラブのモデル事業を実施し、学校や保護者の理解を深めることができた。

特に 工夫した 事項

- ・町の現状を踏まえた持続可能なスポーツ・文化環境を構築するため、全国の先進事例を調べたり、講師を招聘したりするなど、関係者間で認識を深めながら取組んだ。
- ・PTA総会の際に、保護者や学校職員へ説明会を実施したり、検討委員会へ学校やPTA代表に出席して頂いたりする中で、地域移行の目的、内容、進め方等について共通理解が図られるよう努めている。

今後の 課題と 対応方針

- ・少子化の進行、生徒のニーズの変化、近隣市町の動向等により本町の地域クラブ活動は大きく影響される事が予想される。そこで、関係団体や関係機関と密接に連携しながら、それぞれが知恵を出し合い協力できる体制づくりに努めていく。
- ・部活動の段階的な地域移行を進めつつ、総合型地域スポーツクラブの設立・充実に向けた取り組みを推進し、生徒のみならず地域住民にとってもよりよいスポーツ・文化芸術環境となるように取組んでいく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・部活動の地域移行を民間事業者に委託して取り組むことを通して、運営団体の整備を行う。

取組の成果

・業者委託し、モデル事業を行うことによって、教育委員会・学校・運営団体（委託事業者）のそれぞれの役割や責任の所在を整理することができた。一方で、様々な課題を把握することができ、今後地域移行を進める上での礎となった。

特に工夫した事項

・学校・運営団体・教育委員会が共通理解を図りながら業務に取り組めるよう、教育委員会の担当者がコーディネーターの役割を果たし、課題解決が図れるよう取り組んだ。

今後の課題と対応方針

・今回の実践から、更に多くの課題に気づくことができた。今後これらの課題を整理し、関係者間で共有し、課題解決が図れるようにしたい。そのためにも、密接な連携協力体制が維持できるように努めたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 **イ：指導者の質の保障・量の確保**

取組事項

- ・教員による兼職兼業による指導者を確保する。
- ・指導者・運営団体・学校に対して、教育委員会の担当者が研修を実施する。

取組の成果

- ・兼職兼業の手続きが円滑に行われるよう、必要な関係規程・運用の見直しを行った。
- ・地域クラブの在り方、責任の所在と保険加入、指導者としての役割、事故防止と緊急時の対応、体罰等の禁止について、幅広い内容で研修を実施し、関係者間で共有することができた。

特に工夫した事項

- ・学校代表、運営団体、指導者、教育委員会の関係者が顔を合わせて、運営に係わる幅広い内容について共通理解を図ることにより、お互いの役割を理解し連携して運営できるように配慮した。

今後の課題と対応方針

- ・指導者の資質を高めていくため、定期的に指導者講習会を実施したり、競技に係わる講習会参加や資質向上を目指した研究会への指導者の派遣についても検討していきたい。
- ・県の人材バンクの活用、町独自の人材バンクの設置、町競技団体等との情報共有、大学や企業との連携の強化などを検討していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

・大多喜町を含む夷隅郡市2市2町は、少子高齢化の課題があり、中学校の生徒数も減少傾向にある。そこで、広域での取組みについて近隣市町の教育委員会が集まり、検討会を実施した。

取組の成果

- ・各市町が現在取り組む地域移行の状況を把握するとともに、それぞれの課題について共有した。
- ・少子化が一層進行する中、広域的な取組みにより、種目の選択肢を広げたり、地域指導者の発掘の場を広げたりするなどの可能性を確認することができた。
- ・広域連携を進める上での課題について共有することができた。

特に工夫した事項

・県教育委員会の地域移行のコーディネーターを招聘し検討会を実施することにより、国や県の最新の状況を踏まえながら広域連携の協議が進められた。

今後の課題と対応方針

・生徒の輸送手段、市町によるスポーツ団体等への支援の統一、広域的な事務局の設置など、多くの課題を解決するため、会議の持ち方など工夫しながら継続的に会議を進め、課題解決を図りたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実

取組事項

・平日に行っている剣道部としての活動と同様の内容で、実技指導を行い、参加者に混乱がないようにした。活動頻度は1週間に1日程度、1回3時間程度としている。

・指導者と責任者は活動の前後30分も稼働時間とし、生徒の登下校の見守りやカウンセリングなどフォロー体制も整えた。

・毎月の実施状況を報告してもらうことで、活動の様子を掴むことができた。実施者の困り感に対応できた。

・危機管理マニュアルや事故対応フローを作成し、スタッフに周知することで、トラブル発生時の対応ができるよう準備を行った。

活動の詳細

参加人数	9人	指導者数	1人
属性	大多喜中学校 生徒（1年生：3人、2年生：6人）		
具体的な内容	<ul style="list-style-type: none"> 平日に行っている大多喜中学校剣道部の活動と同様に、技術の向上を目的とした技術指導を行う。 活動時間の前後30分を、登下校の見守りやカウンセリングの時間とする。 		
子どもの声	<ul style="list-style-type: none"> 平日よりも長い時間で練習を行うことができるので楽しい。休日はだらけてしまうことが多いので、部活があることで、生活バランスが崩れないのもうれしい。 		
関係者の声	<ul style="list-style-type: none"> 剣道部は幸いなことに顧問の先生も練習内容も練習日や場所等、現行通りで活動できており、安心・満足しております。（保護者） 		
運営経費	参加者からは参加費を徴収せず、町からの委託金にて経費を確保した。		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

- ・会費の徴収については、県や町からの支援を受けて運営・実施に取り組んだ。
- ・今後の受益者負担の方向性について、保護者説明会等で説明した。

取組の成果

- ・保護者は、今後受益者負担が高額にならないか、不安に感じている。

特に工夫した事項

- ・県からの委託金と町からの補助金を活用し、受益者負担なく運営した。

今後の課題と対応方針

- ・地域クラブ活動の持続可能な事業実施のための経費を算出・整理し、保護者の費用負担の在り方などを検討し、財政的な基盤を確立する。また就学援助世帯に対する支援についても検討する。
- ・町民をあげた支援体制や、企業への支援依頼等も検討していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

・これまで部活動で利用していた学校体育施設を使用した。

取組の成果

・これまで部活動で利用した施設が移行後も継続的に使用できる。

特に工夫した事項

・施設使用料等について、部活動は全額減免となっていたが、地域クラブ活動においても全額免除での使用を許可している。

今後の課題と対応方針

・今後もこれまで部活動として利用していた施設を継続して利用できるようにしていきたい。
・学校関係者以外の指導者でも活動場所に入れるようにしていく必要がある。また、活動場所の運用ルールの策定等を進める。

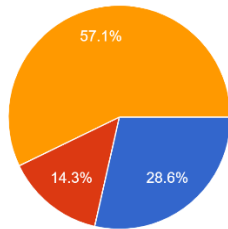
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（生徒）

回答数 7件

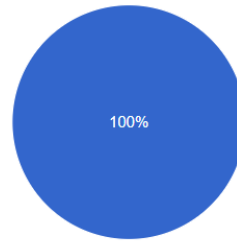
Q休日の地域クラブ活動の良かった点は何ですか？

7件の回答



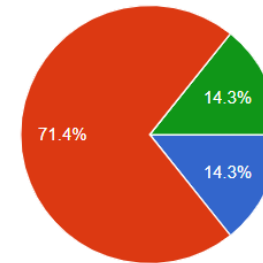
- 体力・運動能力を向上できた
- 技術・戦術的な指導を受けることができた
- 楽しく取り組めた

Q休日の地域クラブ活動の改善点・不安点は何ですか？



- 特になし
- 楽しく取り組めなかった
- 練習についていけないかった
- 成長できなかった

Q休日にどのくらい活動したいですか？

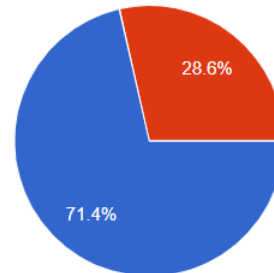


- 週1回以上
- 週1回
- 月に2回以上
- 月に1回
- 土日は活動しなくてよい

Q休日のクラブ活動について、あなたの意見をお聞かせください（自由記述）。

平日よりも長い時間で練習を行うことができるので楽しい。休日はだらけてしまうことが多いので、部活があることで、生活バランスが崩れないのもうれしい。

Q休日の地域クラブ活動の満足度を教えてください。



- とても満足
- 満足
- どちらでもない
- 不満
- とても不満

Qその他、要望やご意見がありましたらお聞かせください。（自由記述）

特になし。

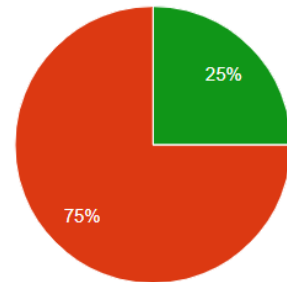
2.実証内容と成果②

アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者）

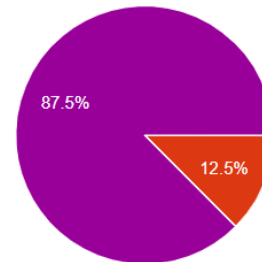
回答数 8件

Q休日の練習頻度（週1程度）についてどのように感じていますか？



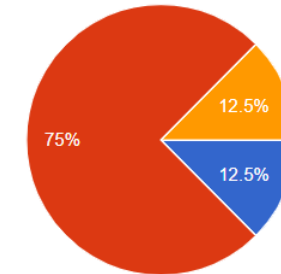
- 少ない
- ちょうどよい
- 多い
- わからない

Q休日は1日につき、どのくらいの時間活動するのが適していると感じますか？



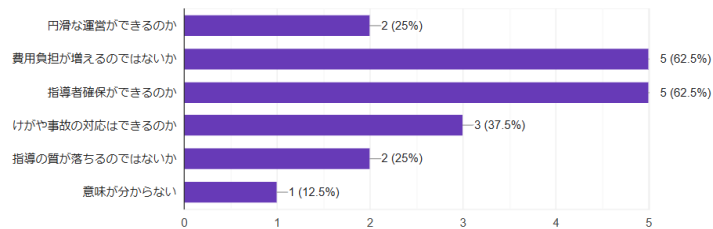
- 1時間未満
- 1時間～1時間半
- 1時間半～2時間
- 2時間～2時間半
- 2時間半～3時間

Q休日の地域クラブの活動をどのような目的で活動させたいですか？（複数回答可）

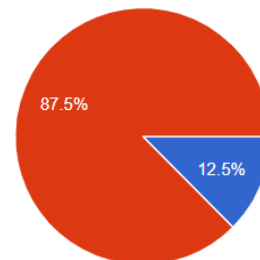


- 仲間と楽しく活動する
- 技術や技能の向上につなげる
- 競技に対する興味や意欲の向上につなげる
- 大会出場を目指す

Q地域クラブ移行を開始する前、どのような不安がありましたか？（複数回答可）※選択肢にない場合はその他に記入してください。

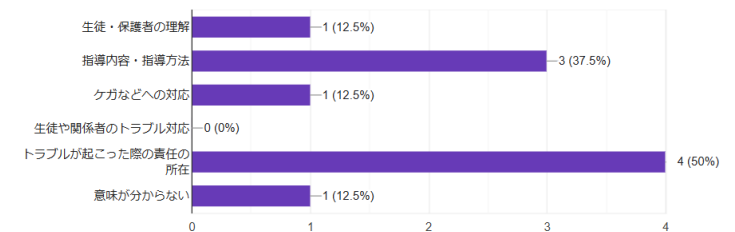


Q地域クラブ移行をしてから不安は軽減しましたか？



- 以前よりも不安はない
- 変わらない
- 以前よりも不安が増えた

Q本事業について、どのような点に課題を感じていますか？（複数回答可）※選択肢にない場合はその他に記入ください。



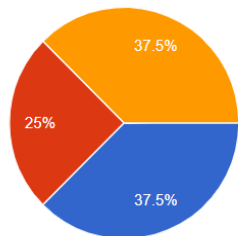
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果（保護者） 回答数 8件

Qその他、要望やご意見がありましたらお聞かせください。

- 試合や練習の予定を、もう少し早く公表して欲しい（指導者の先生への要望かも知れませんが）
- 地域移行の実施のシミュレーションに果たしてなっているのか不明。
- 剣道部は幸いなことに顧問の先生も練習内容も練習日や場所等、現行通りで活動できており、安心・満足しております。

Q休日の地域クラブ活動の満足度を教えてください。



- とても満足
- 満足
- どちらでもない
- 不満
- とても不満

分析

- 生徒のほとんどが、地域クラブ活動に「満足」している。保護者は、6割は「満足」と回答し、「不満」の回答はなかった。生徒達は、前向きに楽しく活動を行っていたことが推察される。
- 活動の量については、生徒も保護者も、「週1日・3時間程度」がちょうどよく思っているようだ。
- 活動の目的については、生徒と保護者で少し考えに相違があるようだ。保護者は「技術・技能の向上」を求める声が多いようだ。
- 保護者は、「費用負担」「指導者確保」「けがや事故への対応」に不安を感じているが、活動の前後であまり不安は払拭されていない。

今後に向けて

- 今後も、生徒達が楽しく生き生きと活動しスポーツに親しむことを大切にしたい。
- 生徒・保護者の声にしっかり耳を傾けながら、保護者とのコミュニケーションを大切し、より充実した活動が行えるように改善を図りたい。そのためにも、SNSのアプリを活用するなど、コミュニケーションのツールを工夫していきたい。
- 地域移行についての保護者の不安が払拭できるよう丁寧な説明を繰り返し行うとともに、関係者間で課題を共有し課題解決を図りたい。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【ペアでの練習】



【素振り】



【挨拶】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年

部活動改革アンケートの実施

●部活動改革アンケート実施

部活動地域移行を進めるため、教職員・小学生・中学生・保護者を対象にアンケートを実施した。

アンケート結果

- ・子ども達や保護者のニーズの多様性
- ・専門的な指導や技術力の向上の期待
- ・子どもが希望数種目の継続
- ・パソコン・美術の文化活動の要望
- ・指導者の質の確保
- ・部活動の種類の確保など

部活動地域移行検討委員会

●部活動地域移行検討委員会

令和5年度から検討委員会を定期的に実施。

本委員会の構成員

- ・スポーツ団体関係者
- ・文化団体関係者
- ・保護者代表
- ・学校関係者
- ・教育委員会代表者 等

協議

・本町としての部活動の地域移行の推進に関して、方針や計画、具体的な取り組み内容等を検討する。

令和6年

生徒、保護者への説明

●保護者説明会の実施

4月、中学校の保護者を対象に、地域移行の趣旨やこれまでの町の取り組みや、今後の方針や主なスケジュール、実証事業について説明を行った。

●学校、顧問との調整、指導者の選定

- ・校長への説明
- 実施部活動の顧問への説明
(兼職兼業手続き含む)
- ・プロポーザル方式により運営団体の業者選定

学校現場との調整

地域クラブ活動の開始

●保護者への説明、地域クラブ活動の開始

新チームとなった10月から事業を開始した。1校1部活の休日の地域クラブ活動に、運営実施団体の指導者を派遣した。

保護者説明会では、実証事業について、部活動と地域クラブ活動の違いについて、地域クラブの具体的な活動について、説明を行った。

- 令和7年度
- ・1校4部活に拡充予定

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
国	改革推進期間		改革実行期間
会議体	大多喜町部活動地域移行検討委員会		
検討・協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域移行の基本方針 ・ 令和6年度実証事業の実施 ・ 総合型地域スポーツクラブ設置推進 ・ 広域連携 ・ 指導者の確保（兼職兼業含む） ・ 費用負担の在り方 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和7年度実証事業の実施 ・ 総合型地域スポーツクラブ活用推進 ・ 広域連携 ・ 指導者の確保（人材バンク・大学等との連携） ・ 費用負担の在り方 ・ 推進計画の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 推進計画に基づいた地域移行の推進 ・ 総合型地域スポーツクラブの活用 ・ 広域連携 ・ 指導者の確保（人材バンク・大学等との連携） ・ 費用負担の在り方
地域クラブ活動に移行する運動部活動数	・ 1部活	・ 4部活程度	・ 6部活（すべて）